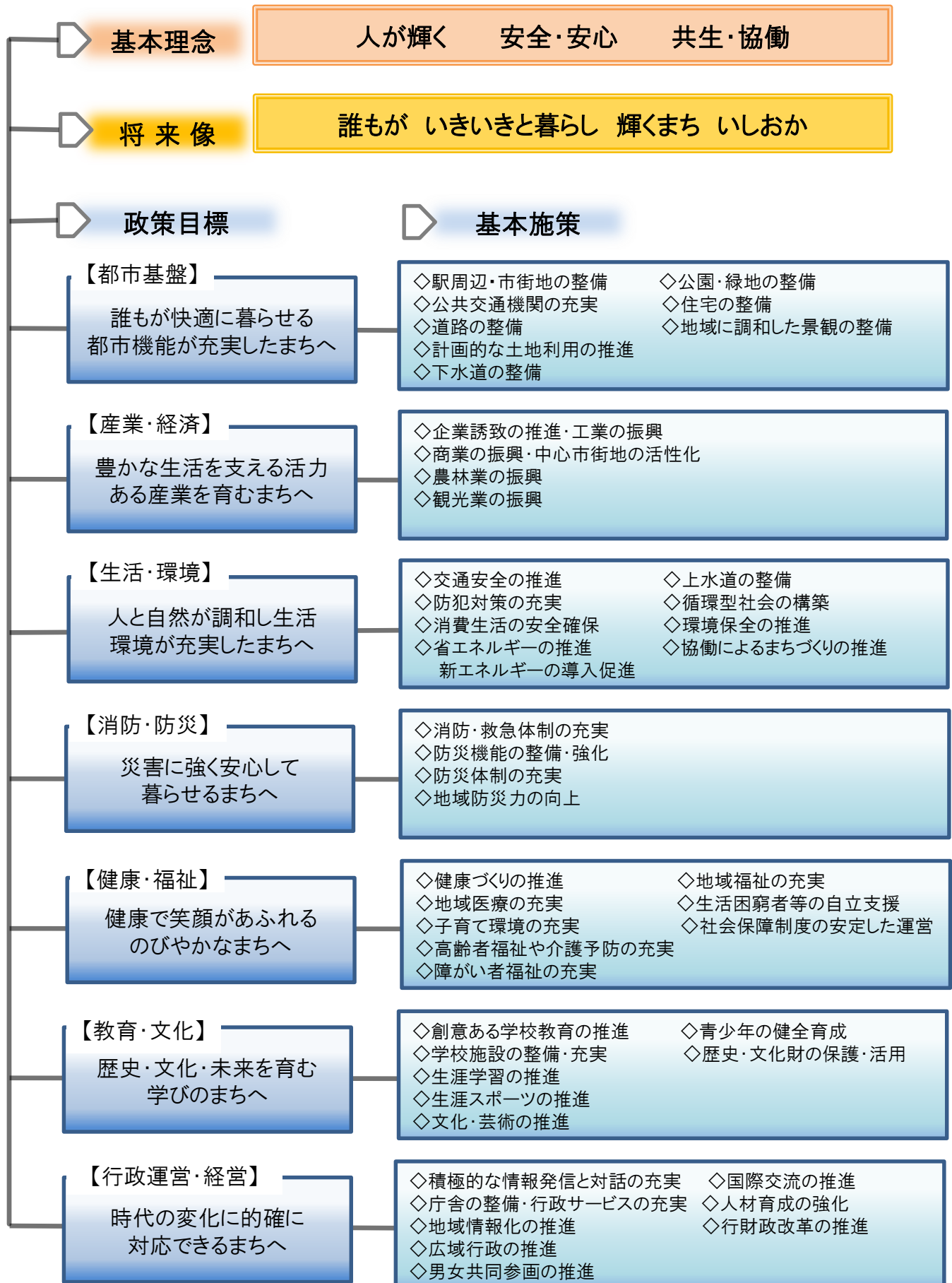


令和3年度
石岡ゆめ創生プラン
施策評価シート

施策の大綱（参考）



■令和3年度 各施策の総合評価基準（前年度比較）および掲載ページ

政策目標	施策名称	令和2年度評価	令和3年度評価	掲載ページ
01 誰もが快適に暮らせる 都市機能が充実したまちへ (都市基盤)	1 駅周辺・市街地の整備	B	B	P.2
	2 公共交通機関の充実	C	B	P.3
	3 道路の整備	B	B	P.4
	4 計画的な土地利用の推進	B	B	P.5
	5 下水道の整備	B	B	P.6
	6 公園・緑地の整備	B	B	P.7
	7 住宅の整備	B	B	P.8
	8 地域に調和した景観の整備	B	B	P.9
02 豊かな生活を支える 活力ある産業を育むまちへ (産業・経済)	1 企業誘致の推進・工業の振興	B	B	P.11
	2 商業の振興・中心市街地の活性化	B	B	P.12
	3 農林業の振興	B	B	P.13
	4 観光業の振興	B	B	P.14
03 人と自然が調和し 生活環境が充実したまちへ (生活・環境)	1 交通安全の推進	A	A	P.16
	2 防犯対策の充実	B	B	P.17
	3 消費生活の安全確保	B	B	P.18
	4 省エネの推進・新エネルギー導入促進	A	B	P.19
	5 上水道の整備	B	B	P.20
	6 循環型社会の構築	B	B	P.21
	7 環境保全の推進	A	B	P.22
	8 協働によるまちづくりの推進	B	B	P.23
04 災害に強く 安心して暮らせるまちへ (消防・防災)	1 消防・救急体制の充実	A	B	P.25
	2 防災機能の整備・強化	B	B	P.26
	3 防災体制の充実	B	A	P.27
	4 地域防災力の向上	B	B	P.28
05 健康で笑顔があふれる のびやかなまちへ (健康・福祉)	1 健康づくりの推進	B	B	P.30
	2 地域医療の充実	C	C	P.31
	3 子育て環境の充実	B	B	P.32
	4 高齢者福祉や介護予防の充実	B	B	P.33
	5 障がい者福祉の充実	B	B	P.34
	6 地域福祉の充実	B	B	P.35
	7 生活困窮者等の自立支援	B	B	P.36
	8 社会保障制度の安定した運営	A	A	P.37
06 歴史・文化・未来を育む 学びのまちへ (教育・文化)	1 創意ある学校教育の推進	B	B	P.39
	2 学校施設の整備・充実	B	B	P.40
	3 生涯学習の推進	B	B	P.41
	4 生涯スポーツの推進	A	C	P.42
	5 文化・芸術の推進	B	B	P.43
	6 青少年の健全育成	B	B	P.44
	7 歴史・文化財の保護・活用	B	B	P.45
07 時代の変化に的確に対応できるまちへ (行政運営・経営)	1 積極的な情報発信と対話の充実	A	A	P.47
	2 庁舎の整備・行政サービスの充実	B	B	P.48
	3 地域情報化の推進	A	A	P.49
	4 広域行政の推進	B	B	P.50
	5 男女共同参画の推進	B	B	P.51
	6 国際交流の推進	B	B	P.52
	7 人材育成の強化	A	B	P.53
	8 行財政改革の推進	B	B	P.54

※各年度の評価については、前年度分の施策の進捗状況等を踏まえて総括評価をしています。

「令和2年度評価」・・・令和元年度分の施策の総括評価をしています。

「令和3年度評価」・・・令和2年度分の施策の総括評価をしています。

【施策評価シートの読み方】

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	【施策の基本情報】 石岡ゆめ創生プランにおける施策体系の位置づけと、どのような取組みをしているか記載しています。
基本施策	
具体的取り組み例	

1 総括評価

進捗状況評価	B	<p>【総括評価】</p> <p>以下に記載している2 主要事業の概要, 3 成果指標, 4 市民満足度調査の結果から令和2年度分の施策の総括評価を記載しています。</p> <p>【評価基準】</p> <p>成果指標の達成状況, 市民満足度調査の結果および施策に紐づく各事務事業の進捗状況等を踏まえ, 以下のように評価しています。</p> <p>A・・・成果が認められ順調 B・・・若干課題や問題があるが, 概ね順調 C・・・一部成果は認められるものの課題や問題があり, 遅れている D・・・成果が認められず, 廃止も含めた見直しが必要</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>成果を踏まえ, 今後の方向性や改善点等を記載しています。</p>
	<p>A 順調</p> <p>B 概ね順調</p> <p>C 遅れている</p> <p>D 見直しが必要</p>	

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
事業名【担当課名】	【主要事業の概要】 石岡ゆめ創生プランに記載している, 各施策の主要事業の成果と今後の方向性を記載しています。
事業名【担当課名】	

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
	【成果指標】 石岡ゆめ創生プランに記載している成果指標の達成状況を記載しています。				

4 市民満足度調査

	<p>【成果指標】</p> <p>市民満足度調査の3カ年分の満足度・重要度の推移を記載しています。いずれも5点満点で調査しています。</p>	満足度	重要度
	<p>H30</p> <p>R1</p> <p>R2</p>	令和2年度調査	

01 誰もが快適に暮らせる

都市機能が充実したまちへ

【都市基盤】

-
- 1 駅周辺・市街地の整備 P2
 - 2 公共交通機関の充実 P3
 - 3 道路の整備 P4
 - 4 計画的な土地利用の推進 P5
 - 5 下水道の整備 P6
 - 6 公園・緑地の整備 P7
 - 7 住宅の整備 P8
 - 8 地域に調和した景観の整備 P9

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	01 駅周辺・市街地の整備
具体的取り組み例	石岡駅周辺の整備・バリアフリー化，ステーションパークの充実

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	石岡駅舎や東西自由通路について，バリアフリー化や耐震化の整備が完了し，駅周辺の利便性向上と，にぎわい創出に寄与しています。併せて，西口駅前広場とBRT駅前広場の整備により，東口利用者が大幅に増加し，西口駅前広場の混雑も解消されました。
		今後の方向性	駅西側の施設改修や駅東側の鹿島鉄道跡地の利活用，また，複合文化施設整備事業との連携により，駅周辺の更なるにぎわい創出を図ります。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

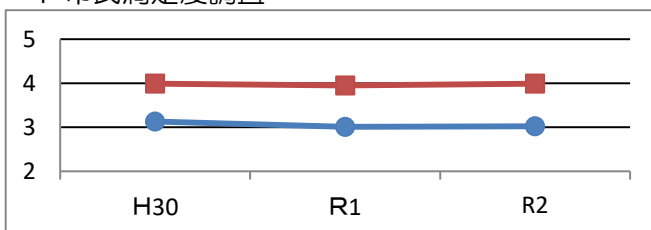
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
石岡駅周辺整備事業【駅周辺にぎわい創生課】	西口駅前広場やBRT専用駅前広場，JR石岡駅橋上化及び東西自由通路の完成と，石岡ステーションパークのリニューアル，飲食店舗の開設等により，駅周辺の利便性を高めることが出来ました。今後，駅西側の施設改修や，石岡市街地に建設予定の複合文化施設整備事業との連携について検討を進め，駅周辺の賑わい創出とさらなる公共交通の利便性向上を図ります。
駐車場整備事業【都市計画課】	駅周辺の市営駐車場については，高齢化社会を踏まえ，ゆとりある駐車スペースの確保を図り，利用しやすい駐車場を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
交通バリアフリー（特定旅客施設）整備率	駅周辺整備事業のバリアフリー化率	%	98.0 (H29)	100	98.0
東西自由通路の歩行者通行量	東西自由通路の歩行者数	人/日	7,498 (H29)	7,700	4,012
石岡市営駅東駐車場利用率	一日平均利用台数／駐車可能台数	%	75.1 (H29)	78.0	20.0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.13	3.99
令和元年度調査	3.01	3.95
令和2年度調査	3.02	3.99

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	02公共交通機関の充実
具体的取り組み例	乗合いタクシーの運行補助、路線バスの運行補助、公共交通の情報発信・利用促進、公共交通に対する意識の醸成、通勤通学者への支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	<p>少子高齢化により、公共交通の重要性が見直されているものの、主要な移動手段は自家用車が多く、公共交通の利用者は全国的に減少しています。現在は、乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助金を交付することで、支援を行っていますが、公共交通制度を理解いただき、利用者を増やしていくために、効果的な情報提供と公共交通に対する意識の醸成を図っていく必要があります。</p>
		今後の方向性	<p>持続可能な交通網形成のための環境整備、意識醸成のための情報提供、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した外出機会の提供を併せて進めてまいります。</p>
		<p>A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要</p>	

2 主要事業の概要

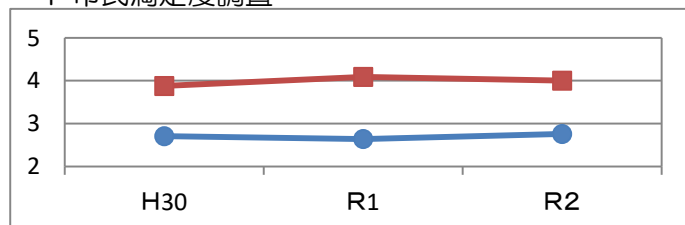
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域交通対策事業【都市計画課】	<p>移動制約者への移動手段の提供はできています。しかし、運行方法や利用方法を検討し、情報誌等への広報をすることで、更なる利用促進を図る必要があります。また、経費の削減を踏まえつつ、住民と協力しながら公共交通に対する意識を醸成することで効率的な運行を一緒に実施していく必要があります。</p>
通勤・通学支援事業【政策企画課】	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、申請件数が減少しています。今後も石岡市に引き続きながら、通勤・通学できる環境整備を進めるとともに、市民が利用しやすい補助制度を構築していきます。</p>

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
市内主要公共交通機関利用者数	1日当りの市内主要公共交通機関利用者数	人/日	7,777 (H28)	8,000	7,322
通勤・通学に対する支援により転出抑制につながった人数	支援制度利用者アンケートで、当該支援により市外への転出を思いとどまったとの回答者数	人	0 (H29)	50	43

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.71	3.88
令和元年度調査	2.64	4.09
令和2年度調査	2.76	4.00

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	03道路の整備
具体的取り組み例	道路の改良, 拡幅整備, 維持管理, 補修, 上管トンネルの整備

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	幹線道路の整備については、既に完了した2路線を除く4路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。また、既存道路の改良・拡幅整備のほか、狭あい道路等の整備についても、限られた予算の中で必要性や緊急性の高い箇所から安全性の確保へ向けて整備を行っています。
		今後の方向性	道路の整備については、国や県の補助金等を活用しながら整備を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅等についても、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的に事業を推進します。
		A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	

2 主要事業の概要

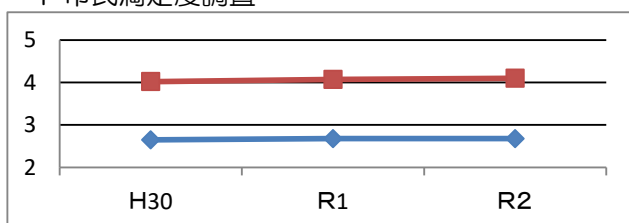
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業【都市計画課】	合併支援道路6路線の整備をしています。今後も補助金や交付金等を活用しながら、路線全体的な整備ではなく、事業効果が上がる一部区間を重点的に整備していきます。
狭あい道路整備事業【建築住宅指導課】	本事業における狭あい道路の解消は局所的ですが、道路交通の安全が向上して居住環境が改善することにより、法令遵守に対する住民への周知、啓発に一定の効果が期待できるため、今後も継続して取り組みます。
地方道路等整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
道路整備率	合併支援道路整備率(6路線)	%	45.5 (H28)	55.5	57.3
狭あい道路事業実施延長	拡幅整備した道路延長	m	184 (H28)	150	60
地方道路等整備延長	地方道路等整備事業による道路改良延長(累計)	m	14,027 (H29)	21,000	19,876 (R2実績:2,399)
道路ストック点検実施延長	道路舗装修繕事業による整備延長(累計)	m	3,425 (H29)	4,125	4,125 (R2実績:0)
狭あい道路待避所整備箇所数	狭あい道路待避所整備事業による整備箇所数(累計)	箇所	17 (H29)	34	19 (R2実績:1)

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.65	4.02
令和元年度調査	2.68	4.07
令和2年度調査	2.68	4.10

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O4計画的な土地利用の推進
具体的取り組み例	都市計画（都市計画道路，用途地域）の変更に向けた調査

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		本市の将来都市像や都市計画の基本方針として，平成28年度に「石岡市都市計画マスタープラン」，平成30年度に「石岡市立地適正化計画」を策定し，計画的・効率的な土地利用を推進しています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		マスタープランや立地適正化計画を羅針盤として，安心安全で快適なまちづくり及び計画的な土地利用に努めてまいります。

2 主要事業の概要

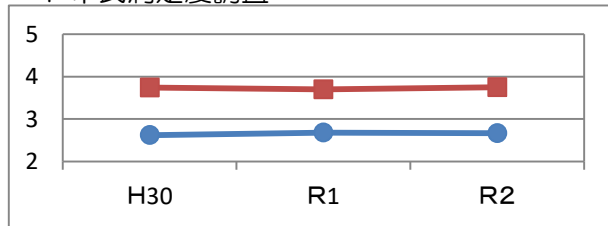
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国土利用法制度周知事業【政策企画課】	毎年10月の土地月間を広報紙等に掲載するなど，適正な土地取引が行われるよう国土利用計画法に基づく土地取引制度の周知に努めます。
都市計画用途地域変更調査【都市計画課】	令和2年度は，用途地域の変更地区（4地区）を選定し，法定図書の作成を行いました。令和3年度は，住民説明会，都市計画審議会など，都市計画変更に向けた法定手続きを進めてまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
国土利用計画法に基づく事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事案件数	回	9 (H29)	2	16
市街化区域内土地利用効率	市街化区域内における都市的土地利用効率	%	80.7 (H28)	81.0	79.8

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.62	3.74
令和元年度調査	2.68	3.70
令和2年度調査	2.67	3.75

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O5下水道の整備
具体的取り組み例	下水道の整備，下水道施設の計画的な改築，長寿命化，高度処理合併浄化槽の補助

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		生活排水ベストプラン（平成27年12月策定）に基づき，下水道の効率的な整備を進めています。 また，既存の下水道施設は，国庫補助金を活用して行ったストック調査結果により，改築(更新，長寿命化対策)等を行うことができました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		下水道の効率的な整備を進めると共に，ストック調査結果により，計画的に下水道施設の改築(更新，長寿命化対策)等を進めていきます。

2 主要事業の概要

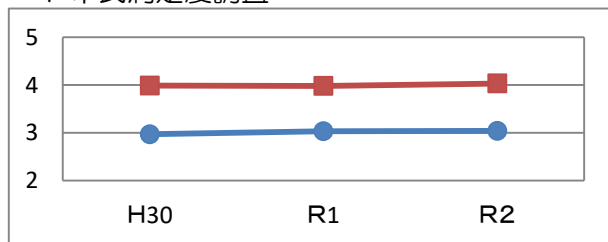
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
公共下水道事業【下水道課】	現状を鑑み，下水道施設の整備計画の見直し，既存の下水道施設は，国庫補助金を活用して行ったストック調査結果により，改築(更新，長寿命化対策)等を効率的に取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
生活排水処理総合普及率	処理区域人口／行政人口	%	84.8 (H29)	90.0	88.1

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.97	3.99
令和元年度調査	3.03	3.98
令和2年度調査	3.04	4.03

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	06公園・緑地の整備
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理，公園里親の募集

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		公園施設の中で最も更新の需要が見込まれる遊具施設については，平成26年度より公園施設長寿命化計画に基づき工事を実施いたしました。また，平成30年度に計画の見直しを行いましたので，現在は新たな計画に基づき，施設の長寿命化工事を実施しております。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		今後の方向性
		公園の長寿命化については，公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては，引き続き募集し，公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。

2 主要事業の概要

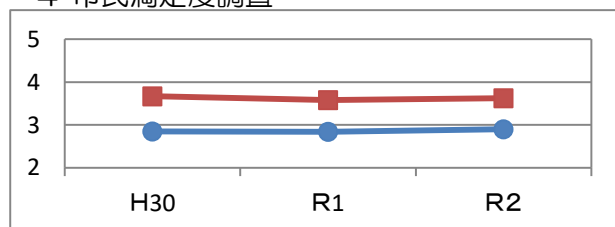
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
石岡市公園里親制度事業【都市計画課】	引き続き，公園里親を募集し，地域住民と協力しながら，公園施設の維持管理を行います。
石岡市公園施設長寿命化事業【都市計画課】	公園長寿命化計画に基づき，予防保全型維持管理への転換を積極的に図ります。令和元年度は，砂場や鉄棒など7公園・12施設の改修工事を実施し，令和2年度は，砂場やブランコなど3公園・4施設の改修工事を実施しました。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
石岡市公園里親団体数	石岡市公園里親制度への加入団体数	団体	3 (H28)	3	2
石岡市公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新公園数	石岡市公園施設長寿命化計画に基づき，改築・更新した公園数（累計）	箇所	0 (H30)	26	16 (R2実績：4)

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.85	3.67
令和元年度調査	2.84	3.58
令和2年度調査	2.90	3.62

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O7住宅の整備
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修，木造住宅耐震改修の促進

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		市内の市営住宅は令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき，現行計画的な改善事業が進められています。 また，高齢者世帯，子育て世帯，新婚世帯等，配慮すべき世帯の住居の安定のため，交通便利の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業については，対象者が減少傾向にあるものの，石岡市への定住促進を補完しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		今後の方向性
		市民が快適に安心して暮らせるためには，住宅の計画的な長寿命化や，民間住宅の効率的な活用等を通じて，暮らしやすい環境を整備することが重要であることから，今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。

2 主要事業の概要

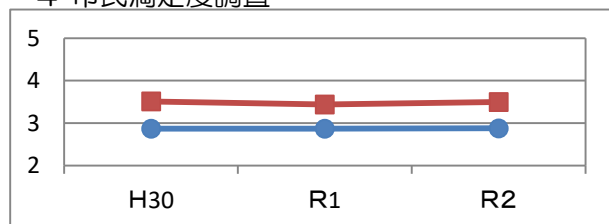
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次，改修工事を実施しました。改定後の計画に基づき各住宅の定期点検を実施します。
木の住まい助成事業【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから，事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業【建築住宅指導課】	民間賃貸住宅の活用について，市民への周知徹底を図るとともに，高齢者世帯や子育て世帯等の配慮すべき世帯の住居の安定に努めます。
住まいづくり推進事業【建築住宅指導課】	市外転入者に対する事業であり，主に若年者の定住人口増加に寄与する事業であるため，事業継続が望ましいと考えます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
市営住宅長寿命化改修事業	改修棟数(累計)	棟	24 (H29)	30	30 (R2実績:3)
ストック活用賃貸住宅入居世帯	制度活用により認定住宅に入居した世帯数	世帯	12 (H29)	30	9

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.87	3.51
令和元年度調査	2.87	3.44
令和2年度調査	2.88	3.50

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	08地域に調和した景観の整備
具体的取り組み例	住民参加型まちづくりファンド支援事業

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		住民参加型まちづくりファンド支援事業及び開発許可案件における完了検査率は目標値を下回りましたが、市内における適正な土地利用及び中心市街地や先導的な景観形成地区における修景事業の実施に関しては比較的高い水準を維持していることから、秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ていると言えます。
		今後の方向性
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		今後もより一層住民参加型まちづくりファンド支援事業の推進に取り組み、景観の保全を図ります。

2 主要事業の概要

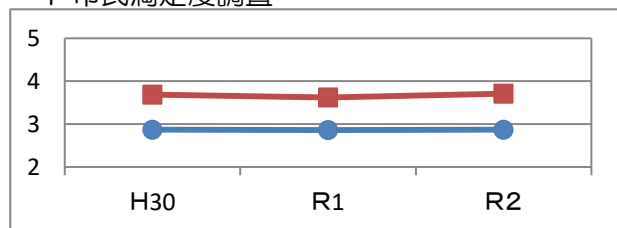
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
住民参加型まちづくりファンド支援事業【都市計画課】	中心市街地、先導的な景観形成地区及び景観重要建造物において、修景実績が上がってきているため今後も取組みを推進してまいります。
宅地開発指導経費【建築住宅指導課】	現状の完了検査率は目標値を下回る結果となったが、今後も引き続き完了検査受験に関する啓発を目的としたリーフレットの作成・配布や、電話・文書等による催促、現地パトロールを実施することにより、目標に対する達成水準の維持・改善に努めます。
建築指導事業【建築住宅指導課】	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており、上位目標の達成においても有効な事業であると考えられることから、引き続き適正な実施に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
住民参加型まちづくりファンド支援事業	事業の実施件数	件	1 (H29)	2	1
完了検査率	開発許可件数に対する完了検査の受検数	%	70.97 (H28)	85.00	77.70

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.87	3.69
令和元年度調査	2.86	3.62
令和2年度調査	2.87	3.71

02 豊かな生活を支える

活力ある産業を育むまちへ

【産業・経済】

-
- 1 企業誘致の推進・工業の振興・・・・・・・・P11
 - 2 商業の振興・中心市街地の活性化・・・・P12
 - 3 農林業の振興・・・・・・・・・・・・P13
 - 4 観光業の振興・・・・・・・・・・・・P14

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O1企業誘致の推進・工業の振興
具体的取り組み例	企業誘致の推進や既存企業への支援，地域に根付いた産業の活性化，企業説明会や就職面接会の実施

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	圏央道の県内区間全線が開通するなど、石岡・小美玉SICを活用して首都圏・北関東各県を結ぶ高速道路ネットワークが形成され交通の利便性が向上したことや、ワンストップサービスによる企業支援を行った結果、企業の新増設が進み成果指標目標を達成しました。また、就職支援事業では、県内及び首都圏の大学等への周知・広報の強化、企業と高校のマッチングや就職説明会を開催するなど、労働力の確保に努め、成果指標目標を概ね達成しました。
		今後の方向性	地域産業の維持・振興のため、既存企業の事業拡大の支援や撤退抑止に努め、雇用の創出を図ります。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

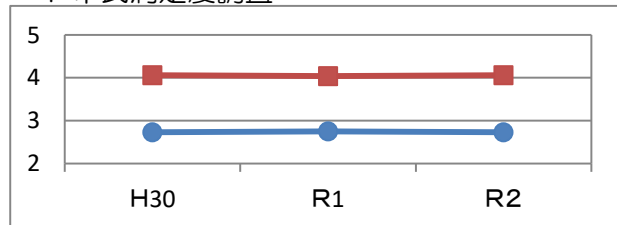
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業【商工課】	柏原工業団地を中心とした立地促進だけでなく、既存企業の事業拡大及び撤退抑止など、企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めています。
就職支援事業【商工課】	この事業により地元企業へ内定・就職した学生がいます。今後も、若い労働力を確保したい中小企業と、地元志向の学生とのマッチングを推進し、定住人口の減少に歯止めをかけられるよう事業の推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
新増設企業誘致数	既存企業の増設・新規企業誘致件数	数	1 (H28)	2 (累計目標：8)	2 (累計：7)
有効求人倍率	有効求人倍率	-	0.71 (H28)	1.00	0.91
就職相談会、面接会の参加者数	企業の就職相談会及び面接会の参加人数	人	57 (H28)	120	216

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.73	4.06
令和元年度調査	2.75	4.04
令和2年度調査	2.73	4.06

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O2商業の振興・中心市街地の活性化
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援、立地適正化計画エリアでの新規創業者の支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	商業振興に関しては、創業による賑わいの創出や地域経済の活性化へ向けた施策、地域資源を活用した地域ブランドを確立に取り組んでおりますが、成果指標の目標値には至っておりません。 中心市街地活性化については、石岡ステーションパークを活用した飲食店出店により、一定の成果を上げていることから、引き続き目標に向かい、より積極的な活性化策を継続してまいります。
		今後の方向性	情勢の変化や市民ニーズ、事業・制度の変更等に的確に対応し、中心市街地活性化基本計画（第3期）に基づき市街地の整備や商業活性化を推進します。

2 主要事業の概要

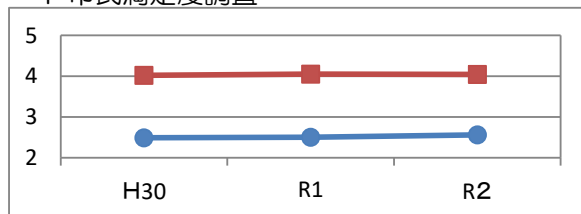
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中心市街地活性化事業補助金【商工課】	中心市街地活性化基本計画（第3期）に基づき事業を実施するとともに、見直しが必要な事業については、実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また、新規事業として、これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。そして、これらの事業計画により、1コンパクトな都市機能づくり、2住み続けられるまちづくり、3賑わいの導線づくり、4商業振興と地域資源みがき、5まちなか観光の推進の実現に向けた事業に取り組んでいきます。
創業支援事業費補助金【商工課】	補助金を活用し創業した者はいないものの、引続き地域における創業を促進するため、創業希望者への支援を強化し、創業の実現と創業後の継続したフォローアップ等を関連機関の強みを活かして適切な支援を図ります。
商工振興事業【商工課】	関係団体等と協力し、魅力ある商店街の創出を検討し、交流人口の拡大を図ります。
新型コロナウイルス感染症に対する中小企業等支援事業【商工課】	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、売上が減少している中小企業者等の事業継続を支援するため、国・県の支援制度の周知及び市独自の支援を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された目標数値	人	3,985 (H28)	4,880	3,692
中心市街地の歩行者 通行量	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された目標数値	人	2,283 (H28)	2,800	1,671
創業者件数	創業支援事業計画の目標数値 (累計)	件	4 (H28)	10	5 (R2実績:0)
石岡セレクト認証件数	石岡セレクトとして認証された 製品の件数	件	0 (R1)	10	17

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.49	4.02
令和元年度調査	2.50	4.05
令和2年度調査	2.56	4.01

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	03農林業の振興
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進、新規就農者支援、鳥獣被害総合対策

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		農産物の販売においては、直売所の伸びとともに、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、魅力アップ、ブランドアップに期待が持てます。新規就農者支援については、市独自の研修制度などを活用し、担い手確保に取り組んでいます。また、農村環境の維持・保全のため、地域ぐるみでの取り組みを推進します。農地中間管理事業により農地の集積が進みつつあり、生産効率の向上や耕作放棄地の解消に寄与しています。
		今後の方向性
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		高品質果樹のPRを継続するとともに、果樹生産の後継者確保・育成を行っていきます。また、農地の面的集約による生産効率の向上を促進するとともに、加工品等の6次産業化を推進し、儲かる農業を目指します。

2 主要事業の概要

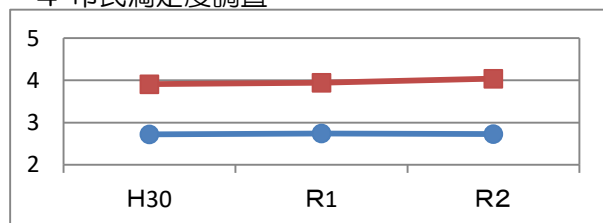
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新規就農者支援対策経費【農政課】	これまで以上に積極的なPR活動を展開し、新たな就農者の確保を目指すとともに農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）、朝日里山ファームの研修システムを活用して支援してまいります。
農力アップ推進事業【農政課】	令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響によりPRを実施できませんでしたが、例年県外においてイベント等でのPRを実施しており、一定の「知名度アップ」は図られていると考えられます。今後は、「魅力アップ」、「ブランドアップ」に注力し、継続した事業の運営が必要とされます。
多面的機能支払交付金事業【農政課】	農村環境の維持・保全のため活用すると共に、地域ぐるみの取り組みを推進します。
鳥獣被害対策事業【農政課】	被害防止につながっています。継続した効果を発揮するためにも、その活動に参加できる隊員の確保、わな免許取得の助成などの地域ぐるみの捕獲活動に積極的に取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
新規就農（林）者数	市内で新たに自営農業就農者等になった人の累計人数 (累計)	人	78 (H28)	130	128 (R2実績：10)
農産物のブランド化・6次産業化の推進	高品質の商品や加工品数 (累計)	品	6 (R1)	8	7 (R2実績：1)
多面的機能支払交付金事業活動組織数	多面的機能支払交付金事業に取り組んでいる組織数	組織	32 (H29)	38	38
獣害対策に取り組む組織数	地域主体で獣害対策に取り組んでいる組織数	組織	3 (R1)	6	5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.72	3.91
令和元年度調査	2.74	3.94
令和2年度調査	2.73	4.04

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	04観光業の振興
具体的取り組み例	魅力的な観光地（フラワーパークなど）づくり， 観光交流による地域活性化

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		平成30年度に第2次石岡市観光振興計画を策定し、10年間の観光振興の方向性を決定しました。 第2次石岡市観光振興計画で定めた目標値1,950千人には達しませんが、令和元年の入込客数は1,471千人となり、微増ながら概ね横ばいとなっています。
	今後の方向性	
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		第2次石岡市観光振興計画に基づく官民一体となった事業展開に加え、リニューアルオープンした茨城県フラワーパーク、ふれあいの森等の観光施設により、令和4年度は更なる誘客と地域経済の発展を図ります。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行います。

2 主要事業の概要

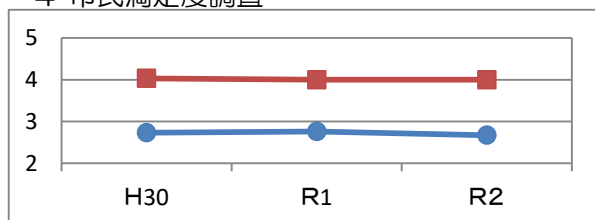
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
観光PR事業【観光課】	観光客の満足度向上を図るため、魅力ある観光地域づくりを推進するとともに、戦略的な情報発信を進めていきます。また、持続可能な観光産業を育成するための施策を実施していきます。観光客の受け入れにおいては、新しい生活様式を注視し、感染症対策の徹底を図っていきます。
観光客誘致促進事業【観光課】	令和2年度、令和3年度に制作したインバウンド向け動画やパンフレット、観光情報誌を活用し、国内外で人気の高いおまつりの積極的なPRや令和3年度にリニューアルオープンした、茨城県フラワーパークやふれあいの森を拠点とした周遊観光に繋がるPR活動を実施していきます。また、県内への訪日客が多く、茨城空港から定期便が就航している台湾をターゲット市場とし、当市観光情報の発信や認知度向上及び観光コンテンツのニーズ調査を実施することで、台湾からの訪日観光客の誘致促進を行います。観光客の受け入れにおいては、新しい生活様式を注視し、感染症対策の徹底を図っていきます。
ジオパーク推進事業【観光課】	筑波山地域ジオパークを新たな観光資源としてとらえ、他の観光事業や学校教育とも連携した新たな取組を進める必要があります。観光客の受け入れにおいては、新しい生活様式を注視し、感染症対策の徹底を図っていきます。
ふれあいの森リニューアル事業【観光課】	茨城県フラワーパークとの相乗効果を得るために、フラワーパークと一体的な整備を進める必要があります。観光客の受け入れにおいては、新しい生活様式を注視し、感染症対策の徹底を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	1,475,600 (H28)	1,700,000	1,471,600 (R1実績)

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.73	4.03
令和元年度調査	2.76	4.00
令和2年度調査	2.67	4.00

03 人と自然が調和し

生活環境が充実したまちへ

【生活・環境】

-
- 1 交通安全の推進 P16
 - 2 防犯対策の充実 P17
 - 3 消費生活の安全確保 P18
 - 4 省エネルギーの推進
 新エネルギーの導入促進 . . . P19
 - 5 上水道の整備 P20
 - 6 循環型社会の構築 P21
 - 7 環境保全の推移 P22
 - 8 協働によるまちづくりの推進 . . P23

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	01交通安全の推進
具体的取り組み例	安全で安心な道路・歩道環境の整備

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備が一定程度進んでいるといえます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。

2 主要事業の概要

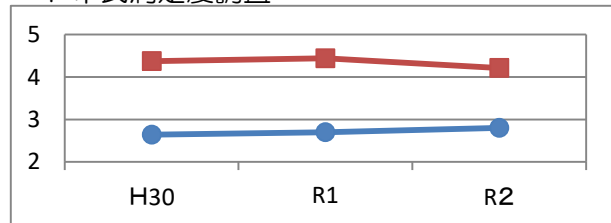
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
交通安全対策経費【コミュニティ推進課】	感染症対策に配慮した街頭活動等により、更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。
交通安全施設整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、必要性や緊急性の高い箇所から、効率的に道路の交通安全施設整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
交通事故死者数	石岡市の年間交通事故死者数	人	(H28) ³	0	1
交通事故件数	石岡市の年間交通事故件数	件	257 (H28)	210	152

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.64	4.37
令和元年度調査	2.70	4.44
令和2年度調査	2.80	4.21

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	02防犯対策の充実
具体的取り組み例	地域との協働による防犯環境の向上，街路灯・防犯灯の設置，エンゼルパトロールの実施

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		防犯カメラや防犯灯の設置等が進んでおり，刑法犯罪件数の減少も見られることから，安全・安心に生活できる環境整備は一定程度進んでいるといえます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。

2 主要事業の概要

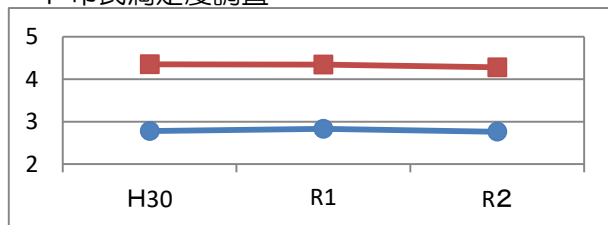
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
安全・安心まちづくり推進事業【コミュニティ推進課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図り，地域の防犯向上に努めます。
街路灯・防犯灯事業【コミュニティ推進課】	必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進め，地域の防犯向上に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
防犯カメラ設置数	市内の防犯カメラの設置数(累計)	基	25 (R1)	29	27 (R2実績:2)
防犯灯設置及び器具等交換灯数	市内の防犯灯設置及び器具等交換灯数	灯	718 (H28)	750	503
エンゼルパトロール登録者数	登録者数	人	897 (H28)	1,060	715
刑法犯罪件数	石岡市の刑法犯の件数	件	726 (H28)	650	423

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.78	4.35
令和元年度調査	2.83	4.34
令和2年度調査	2.76	4.28

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	03消費生活の安全確保
具体的取り組み例	消費生活センターの設置，消費生活に関する苦情・相談の受付対応

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		ニセ電話詐欺など，日々新たな手口や商法が生み出されている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り，増加傾向にある苦情や相談等に対応し，消費者意識の向上を図っています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		賢い消費者を育てることにより，市民生活の安定及び向上を目指します。

2 主要事業の概要

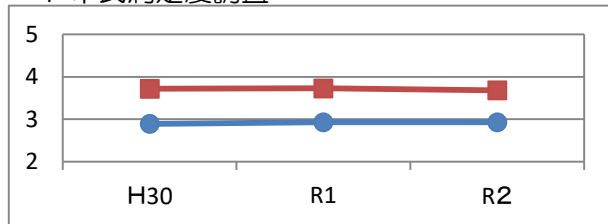
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消費者保護育成事業【コミュニティ推進課】	消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
相談件数	消費者トラブル等の相談	件	397 (H28)	300	818
出前講座	消費生活に関する出前講座	回	1 (H28)	7	3
消費者トラブル発生件数	消費者トラブルの年間発生件数	件	338 (H28)	280	411

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.89	3.72
令和元年度調査	2.93	3.73
令和2年度調査	2.93	3.68

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	04省エネの推進・新エネルギー導入促進
具体的取り組み例	省エネキャンペーンの実施，公共施設における自然エネルギーの有効活用

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		環境に配慮した新庁舎は，太陽熱や地中熱などの再生可能エネルギーを活用し，消費電力の低減を図っています。 一方省エネルギーの推進では，市の施設におけるエネルギー使用料は5年間で5%以上削減（原油換算）を達成していることから，現状の取組には一定の効果が認められます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		省エネルギーの推進では，省エネ・節電についての意識啓発に取り組み，尚一層の推進を図ります。

2 主要事業の概要

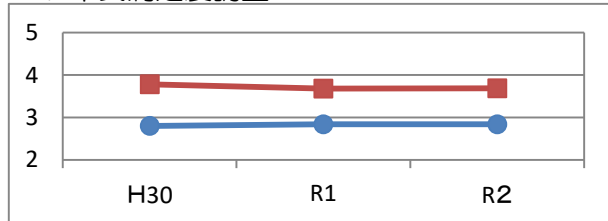
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
環境保全対策経費【生活環境課】	地球環境問題を考える機会を増やすために，広報やホームページ等による啓発と学校等への情報提供を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
市の施設のエネルギー使用量	省エネ法に基づくエネルギー使用量を5年で5%以上削減（原油換算）	kl	3,187 (H28)	3,028	2,836
意識啓発活動	省エネルギーキャンペーン等の実施回数	件	² (H28)	2	0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.80	3.78
令和元年度調査	2.84	3.68
令和2年度調査	2.84	3.69

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	05上水道の整備
具体的取り組み例	老朽化した配水管及び施設の更新・整備と、漏水箇所の早期発見・改修

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		現在「石岡市水道事業中長期基本計画」に基づき、老朽化した施設の更新事業を進めています。配水管の老朽化に伴い、本管(φ75以上)の漏水が増加傾向にある中で、令和2年度は、寒波の影響による給水管凍結に伴う漏水も多発し、有収率が0.6%減の77.85%になりました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 「石岡市水道事業中長期基本計画」に基づき、老朽化施設の更新を行います。また、上水道の安定供給と有収率の向上のため、効果的な漏水調査を行い、漏水箇所の早期発見・修繕を行います。

2 主要事業の概要

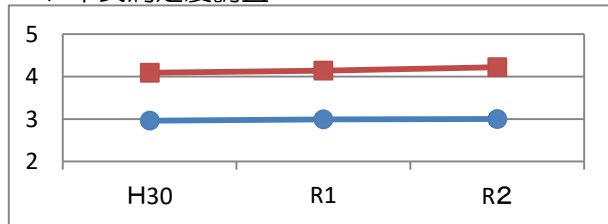
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
老朽施設更新【水道課】	平成30年度に、「石岡市水道事業中長期基本計画」を策定しました。計画に基づき、安定した上水道の供給のため、老朽化施設の更新を行ってまいります。
漏水調査【水道課】	上水道の安定供給と有収率の向上のため、過去に漏水があった路線を重点的に調査し、早期発見・修繕を行ってまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
有収率	有収水量÷配水量	%	75.0 (H28)	85.0	77.85

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.96	4.09
令和元年度調査	2.99	4.14
令和2年度調査	3.00	4.22

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	06循環型社会の構築
具体的取り組み例	ごみ減量化, 3R推進, 八郷地区の市指定ごみ袋使用義務化運用開始, 環境監視員パトロール, ごみ処理施設の広域整備, 市内分別統一の周知

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	環境監視員の活動等により, 不法投棄の早期発見につながっています。また, ごみ処理施設稼働に向けた市内分別統一について, 住民へ周知しました。 1人当たりの年間ごみ排出量については, 引き続き排出段階におけるごみの減量化について, 周知方法や取り組みを検討していきます。
		今後の方向性	新施設の稼働に続き, 霞台厚生施設組合地域循環型社会形成推進地域計画(第2期計画)に係る整備及び旧施設解体等を進めると同時に, より一層の分別意識の啓発等を進めていきます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

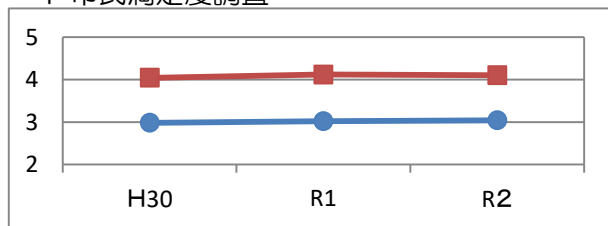
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ごみ減量・資源化推進事業【生活環境課】	集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには, 石岡市資源ごみ回収事業補助金における新規の登録団体や実施回数を増やすとともに, 広報紙・HP等による周知が必要です。
新広域ごみ処理施設建設計画【生活環境課】	ごみ処理について, 効率的かつ効果的にサービスを提供するため広域処理施設の整備を進めました。今後は, 霞台厚生施設組合地域循環型社会形成推進地域計画(第2期計画)に係る整備及び旧施設の解体等を進めるとともに安定稼働に努め, 一般廃棄物を適正に処理します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
資源化率	年間に排出されるごみ量に占める資源ごみの割合	%	17.56 (H28)	24.6	17.24
1人当たりの年間ごみ排出量	1人当たりの年間ごみ排出量	kg	348 (H28)	315	363
し尿の年間汲み取り量	年間に汲み取りされる量	kl	1,819 (H28)	1,993	1,826

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.98	4.04
令和元年度調査	3.02	4.12
令和2年度調査	3.04	4.10

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	07環境保全の推進
具体的取り組み例	霞ヶ浦の水質検査や清掃活動，森林の間伐・整備による里山の保全

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	<p>河川水質の分析，公害等の各種調査・分析を行っており，現状の検査等で異常値はなく，環境保全の各種取り組みには，一定の効果が認められます。</p> <p>身近なみどり整備推進事業では，計画策定時に早急な対応が必要と判定された森林は，計画に沿った間伐等が進んでいますが，計画策定後に荒廃が進んだ森林は現状をみながら進めざるを得ない状況です。</p>
		今後の方向性	<p>水質浄化啓発と共に生活排水を処理できる環境を整える必要があります。荒廃した森林の間伐や県森林湖沼環境税を活用し，市民提案による整備を支援していきます。</p>
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

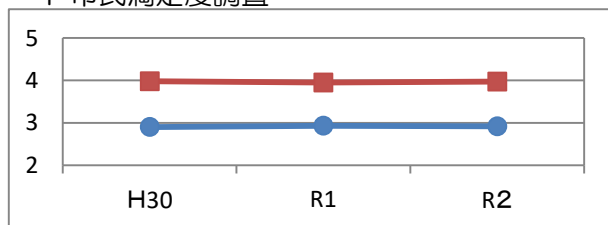
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
霞ヶ浦浄化対策経費【生活環境課】	水質浄化の啓発等により霞ヶ浦の水質浄化が図れています。協働で行う清掃事業を今後もより地域に浸透させていきます。
霞ヶ浦浄化対策経費【下水道課】	合併浄化槽補助金の交付や国，県に補助制度の見直し，拡大を要望し，本事業の推進に努めます。
公害対策経費【生活環境課】	問題発生時から一定年数が経過した箇所については，今後の検査体制等を地元と協議していく必要があります。また，近年増加している不法投棄や不法残土に対応するため，クライシス監理官の活用強化等を図っていく必要があります。
身近なみどり整備推進事業【農政課】	荒れてしまった身近な森林を整備することで，安心安全な生活環境づくりに貢献していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
河川のBODの値	恋瀬川におけるBODの値	mg/l	1.7 (H27)	1.7	1.2
食用廃油回収量	食用廃油回収量	リットル	1,750 (H28)	2,000	1,140
森林整備面積	身近なみどり整備推進事業による整備面積（累計）	ha	70 (R1)	80	75 (R2実績：5)
水洗化普及率 (合併処理浄化槽)	水洗化済人口／処理区域人口	%	23.2 (H28)	25.0	24.4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.90	3.98
令和元年度調査	2.93	3.95
令和2年度調査	2.92	3.97

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	08協働によるまちづくりの推進
具体的取り組み例	協働のまちづくり条例の推進と、まちづくりの担い手を育成するための講座やワークショップの開催、まちづくりについての情報発信

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		石岡市協働のまちづくり条例に基づき、市民の行政参加や協働に継続的に取り組んでおり、一定の成果を上げているといえます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		常に協働によるまちづくりを意識し、ひざを交えてパートナー（市民）と話し合いながら、市民活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

2 主要事業の概要

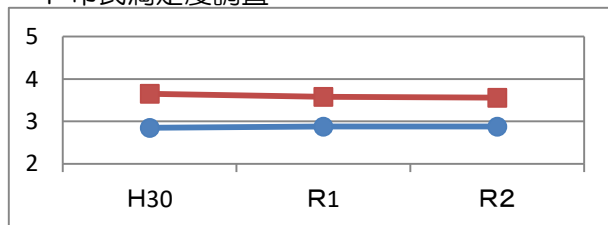
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
協働まちづくり推進事業【コミュニティ推進課】	「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により、現在市民と協力し、行われている事業を分析し、その事業の発展向上を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
協働活動事例の周知	「協働」の取り組み事例を広報紙・HPへの掲載事例数	事例	3	10	3

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.85	3.65
令和元年度調査	2.88	3.58
令和2年度調査	2.88	3.56

04 災害に強く

安心して暮らせるまちへ

【消防・防災】

-
- 1 消防・救急体制の充実 P25
 - 2 防災機能の整備・強化 P26
 - 3 防災体制の充実 P27
 - 4 地域防災力の向上 P28

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	O4災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	O1 消防・救急体制の充実
具体的取り組み例	防災拠点の充実強化, 消防隊・救急救命士の技能向上, 感染症対策

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	市民の生命・身体を保護するため、防災拠点の充実を図りました。旧愛郷橋出張所は建設から42年経過しており、あわせて浸水区域に指定されていることから、令和2年度に整備事業を進めました。石岡市南部地区の防災拠点として更なる地域住民の安全・安心を確保し、令和3年度から消防業務を開始しています。 また、救急医療体制の高度化に伴う専門技能を有する救急救命士の育成を図るとともに、感染防護資器材の確保に努めました。
		今後の方向性	今後も、各事業の更なる整備及び感染症対策の充実強化を図り、市民の安全・安心の確保に努めます。
		A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	

2 主要事業の概要

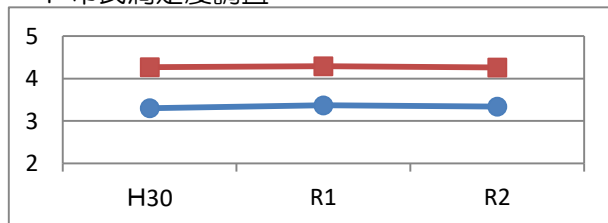
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消防機器・施設整備事業【消防本部総務課】	計画に基づき更新できていますが、今後車両の個体差、使用頻度等を考え更新計画をその都度見直していきます。
救急業務【消防本部警防課】	増加傾向にある救急事案に対応するため、救急資器材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行していきます。 また、救急医療体制の高度化に伴う専門技能を有する救急救命士の育成や、救命講習会の継続性の確保のため、訓練用資器材及び救命講習会で使用している資器材の充実を図ります。 さらに、感染症対策（パンデミック時の対応）として感染防護資器材の備蓄を確保していきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
救命講習会受講者数	バイスタンダーによる適切な処置のための救命講習会受講者数(累計)	人	7,691 (H29)	14,000	12,656 (R2実績:100)
消防団	消防団の再編を実施する分団数	分団	18 (H29)	26	26

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.30	4.27
令和元年度調査	3.37	4.29
令和2年度調査	3.34	4.26

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	02防災機能の整備・強化
具体的取り組み例	防災無線の積極的な運用，避難所の防災倉庫や備蓄品の適正な管理

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	平成27年度より，市内全域で防災行政無線の運用を開始し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また，平成8年度より運用している「ぼうさいやさと」との一元化に向けた整備を令和2年度中に完了しました。令和3年度より新たに導入された防災行政無線設備の本格運用を開始しています。
		今後の方向性	今後も適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めます。また，被災者の福祉及び生活の安定を目指します。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

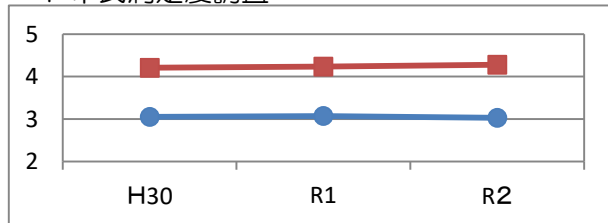
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災行政無線整備事業【防災危機管理課】	市内全域で防災行政無線を活用し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。本事業については令和2年度末に完了いたしました。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
防災行政無線の一元化	防災行政無線「ぼうさいいしおか」と「ぼうさいやさと」の一元化	式	(H29) ²	1	1
急傾斜地崩壊対策整備延長	急傾斜地崩壊対策事業による整備延長	m	352 (H29)	485	470.4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.05	4.21
令和元年度調査	3.07	4.24
令和2年度調査	3.03	4.28

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	03防災体制の充実
具体的取り組み例	地域防災計画の運用，業務継続計画（BCP）の運用

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		令和2年度は、石岡市国土強靱化地域計画に併せて、石岡市地域防災計画を改定し、当計画に基づく災害体制の構築を進めています。また、災害時に市民が必要とする業務の継続，早期の復旧が可能となるよう、業務継続計画（BCP）を策定しています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		災害時に、市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを今後も継続して実施していきます。

2 主要事業の概要

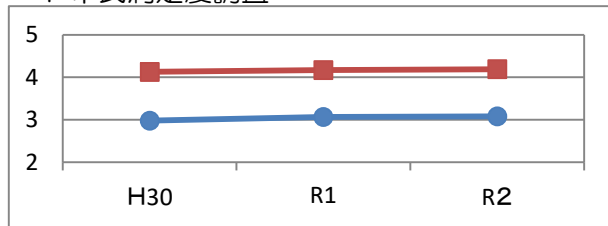
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災対策事業【防災危機管理課】	防災備蓄品については、消費期限等を考慮して防災啓発や教育等に有効活用しています。今後も数量管理を徹底し適正に管理していきます。また、防災用資機材については、いざという時に使用できるよう、点検及び維持管理に努めています。なお、職員に対しては訓練や研修等を継続的に実施していきます。
国土強靱化地域計画策定業務【防災危機管理課】	令和2年度において、石岡市国土強靱化地域計画を策定し、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策の総合的、計画的な実施方針を定めました。令和3年度以降も、国や県の動向を踏まえ、必要に応じて改定を行います。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
防災会議の開催	地域防災計画見直しのための防災会議の開催数	回	1 (H29)	1	1
業務継続計画の策定	業務継続計画の対応する災害種別数	種	1 (H29)	2	2

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.98	4.13
令和元年度調査	3.07	4.17
令和2年度調査	3.08	4.19

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	04地域防災力の向上
具体的取り組み例	自主防災組織への支援， 火災予防運動や危険物安全週間を通じた周知活動

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		行政と市民が防災に関する情報を共有し，自主防災組織の設立促進や防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また，防災訓練時にも住宅用火災警報器の設置を促進することで，市民の防災意識の向上を図り，安全確保に努めてきました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 自主防災組織の新設及び活動の活性化を推進するとともに，防災訓練への参加を促進し，地域防災力の向上に努めます。

2 主要事業の概要

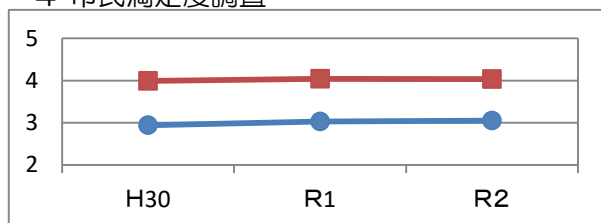
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域防災訓練【防災危機管理課】	地域住民が主体となった防災訓練の実施に向け，出前講座等を継続的に行っていきます。
自主防災組織活性化事業【防災危機管理課】	地域での防災研修会などに積極的に参加し，自主防災組織の設立促進を図るとともに，県の事業などを有効に活用して，自主防災組織の活性化を図っていきます。
火災予防業務【消防本部予防課】	住宅用火災警報器を設置することが，一般住宅における火災での死者数減少に直結しているため，引き続き住宅用火災警報器の設置率の向上及び維持管理に重点を置き，火災予防啓発活動を実施していきます。 また，防火対象物等に対する立入検査を実施し，関係者等に火災予防及び法令遵守を指導し，火災発生や人命に及ぶ危険防止を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
地域防災訓練の実施	地域住民が中心となった防災訓練の実施回数	回	(H30) ²	2	0 (訓練中止)
総合防災訓練の実施	総合防災訓令の参加人数	人	1,191 (H29)	1,500	0 (訓練中止)
自主防災組織の設立促進	自主防災組織の設立組織数	組織	154 (H29)	160	161
住宅用火災警報器の設置	設置率の推計値	%	72.2 (H29)	80.0	76.1

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.94	3.99
令和元年度調査	3.03	4.04
令和2年度調査	3.05	4.03

05 健康で笑顔あふれる

のびやかなまちへ

【健康・福祉】

-
- 1 健康づくりの推進 P30
 - 2 地域医療の充実 P31
 - 3 子育て環境の充実 P32
 - 4 高齢者福祉や介護予防の充実 . . P33
 - 5 障がい者福祉の充実 P34
 - 6 地域福祉の充実 P35
 - 7 生活困窮者等の自立支援 P36
 - 8 社会保障制度の安定した運営 . . P37

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	01健康づくりの推進
具体的取り組み例	各種健康診査、疾病予防のための健康づくり事業の実施 予防接種の助成

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		各成果指標は、目標値には達していませんが、市民満足度調査においては、重要度が増加しており、市民の意識や関心が高いことが伺われます。今後も目標値に近づけるよう各事業を展開し、市民満足度の向上に努めます。
		今後の方向性
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		「第二次いしおか健康応援プラン」に基づいて、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関する事業を展開していきます。

2 主要事業の概要

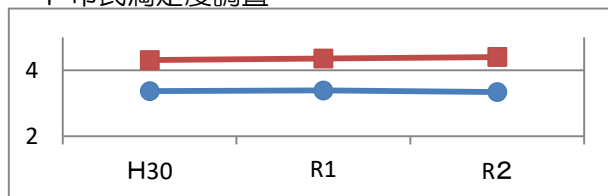
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
成人保健事業【健康増進課】	集団検診（子宮がん・乳がん検診）に合わせて、大腸がん検診も同時に実施し健診日を増やしています。今後も健康診査・がん検診の受けやすい体制を整備します。若い世代から健康づくり行動を身に付け、自主的に健康維持・増進ができるように支援します。
健康づくり推進事業【健康増進課】	石岡市民に多いとされる高血圧や糖尿病をはじめとした生活習慣病予防のため、食生活改善推進員の協力を得ながら野菜摂取量増加、及び適塩の普及啓発活動の実施が必要です。感染症対策を講じながら、今後も効果的な事業が実施できるよう、さらに事業内容を検討するとともに、食生活改善事業を広く周知し、すべての世代へ食育の推進を行います。
母子保健事業【健康増進課】	今後も妊娠期から乳幼児期の健康診査や訪問等を充実させ、安心して子育てができる環境を整え、健康づくりを推進します。
予防接種事業【健康増進課】	予防接種の正しい知識の普及を実施し、接種体制の整備を図っています。今後も継続して定期予防接種（ロタ、ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ、麻しん風しん、日本脳炎、BCG、小児肺炎球菌、ヒブ、HPV、水痘、B型肝炎、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ・風しんの追加的対策）任意予防接種（小児インフルエンザ、おたふくかぜ、成人風しん、高齢者肺炎球菌（定期接種対象外））について、接種勧奨や接種費用の助成を行い、接種率の向上に努めてまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭への全戸家庭訪問	%	98.3 (H28)	99.0	93.8
自分の健康に関心のある女性	市の行なう子宮・乳がん検診を受診した女性の人数	人	4,111 (H28)	4,500	3,184
成人歯科検診を受けた市民	市の行なう成人歯科検診を受診した人数	人	268 (H28)	320	187
健康づくりに関心のある市民	食生活改善推進員として健康づくりに関心を持ち活動する人数	人	128 (H29)	140	124

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.37	4.31
令和元年度調査	3.39	4.36
令和2年度調査	3.34	4.40

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	02地域医療の充実
具体的取り組み例	休日・夜間診療の診療体制の確保，二次救急診療の当番病院への運営補助，地域医療に係る懇談会・報告会等の開催

1 総括評価

進捗状況評価	C	総括評価
		初期救急及び二次救急の医療体制のうち，令和2年7月から医師不足等により初期救急（内科・小児科）が休止となりました。地域の医療機関等の協力により，令和3年7月から小児科の初期緊急が再開となりましたが，内科については未だに休止のままです。今後も二次救急体制を確保しながら，初期救急（内科）の再開に向けて対策を検討する必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		今後の方向性
		地域医療に係る調査等の結果を踏まえ，将来的な地域医療のあり方を整理し，必要な医療体制の整備に向けて効果的な手法を検討してまいります。

2 主要事業の概要

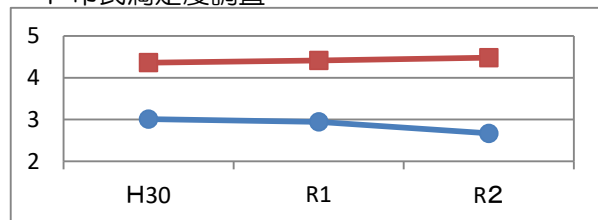
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
石岡市緊急診療【健康増進課】	緊急診療については，近隣市や関係機関と連携し，市民へのセーフティネットの提供のために，事業の再開を目指します。
休日在宅当番医【健康増進課】	外科は，在宅当番医制が休止している現在でも，地域の医療機関でほぼ毎日対応できる状況です。今後は，歯科の在宅当番を継続するとともに，近隣市や関係機関と連携し，緊急診療も含め，必要な医療体制の整備を目指します。
石岡市地域病院群輪番制病院運営費補助金【健康増進課】	第二次救急医療機関の協力のもと，診療予定日どおり診療を行いました。今後も市民へのセーフティネット提供のために，継続して実施します。
地域医療に係る懇談会・報告会等【健康増進課地域医療対策室】	令和元年度に石岡地域医療計画を策定しましたが，必要な医療体制を整備するための方策等について見直しが必要です。今後は，専門的な視点による医療需要動向調査等を実施し，将来的な地域医療のあり方について整理するとともに，議会や近隣市，医療機関などの関係機関と具体的な方策について協議等を進め，石岡地域医療計画を見直します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
緊急診療・在宅当番医開設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100 (H28)	100	22.9
第二次救急医療病院群輪番制診療実施率	診療予定日における診療実施率	%	100 (H28)	100	100
地域医療に係る懇談会・報告会等の開催	地域医療に係る懇談会・報告会等の開催回数	回	0 (H29)	3	4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.01	4.36
令和元年度調査	2.94	4.41
令和2年度調査	2.67	4.48

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	03子育て環境の充実
具体的取り組み例	保育事業，放課後児童健全育成事業

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	児童手当や児童扶養手当など，子育て世代に対する支援につきましては，法に基づいて適正に行っております。また市内の公立・私立の保育施設の運営においては，多様化する保育ニーズに対応すべく，利用定員の見直しを行うことで待機児童数ゼロを維持しています。
		今後の方向性	子どもを産み，育てやすい環境づくりのため，関係部署と連携して，子ども・子育て支援プランに基づいて，事業の実施に努めてまいります。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

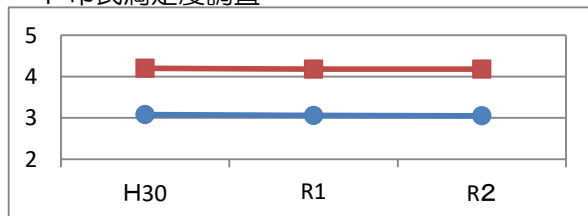
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保育事業 【こども福祉課】	引き続き保育ニーズの変化を捉えながら今後の保育運営にあたってまいります。併せて第1保育所の保育環境の充実についても検討してまいります。
子育て世代包括支援センター事業 【健康増進課】	子育て世代包括支援センターを2か所に増やしたことで，妊婦面談の増加につながりました。今後も子育て相談がしやすい環境づくりを整え，社会資源の情報集約と関係機関との連携を図ることで，妊娠期から子育て期の支援を充実させます。
放課後児童対策事業 【生涯学習課】	公立児童クラブの民間委託と民間学童保育事業者の参入により，支援員の確保及び質の向上を図るとともに，運営の効率化を進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
待機児童数	入所資格を有するも，市内の保育所に入所ができない児童数	人	0 (H28)	0	0
地域子育て支援センター利用者数	年間の延べ利用者数	人	27,020 (H28)	27,500	13,715
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	793 (H28)	800	892

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.08	4.20
令和元年度調査	3.06	4.18
令和2年度調査	3.05	4.18

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	04高齢者福祉や介護予防の充実
具体的取り組み例	高齢者が生きがいを持って活躍できる環境をつくり、介護予防活動普及のための人材を育成

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		高齢者世帯やひとり暮らし高齢世帯が増加しております。また、日常生活支援総合事業対象者、要支援者及び要介護者のサービス利用者数も増加傾向にあります。介護保険事業を含め高齢者関連事業は、令和2年度までが計画期間である第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や事業を適正な水準で実施しました。
		今後の方向性
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		高齢者が生きがいを持って現役で活躍できるよう社会参加活動を進めつつ、地域で安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

2 主要事業の概要

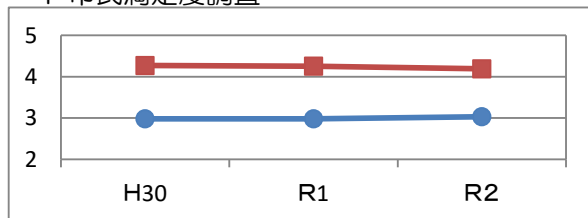
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生涯現役事業【高齢福祉課】	高齢者一人ひとりが、生きがいを持って対象講座等に参加することで、介護予防に繋がることから事業の必要性があり、継続して実施していきます。
地域包括支援センター運営事業【高齢福祉課】	高齢者の総合相談窓口として、高齢者人口の増加に伴うニーズの増大・多様化・複雑化に対応し、必要に応じて適切なサービスへの支援を提供しています。今後も様々な相談機関や地域資源との情報連携体制を強化していきます。
介護予防普及啓発事業【高齢福祉課】	高齢者の地域の通いの場として、かつ要介護状態になることを予防するため、介護予防教室を各地で開催しました。参加者からの開催要望も多く、引き続き実施する必要があります。
シルバーリハビリ体操指導士養成事業【高齢福祉課】	地域住民自らが介護予防活動の担い手になれるようボランティアを養成し、地域の手で介護予防を促進しています。地域での活動の場が広がっているため、今後も継続して養成を実施していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
生涯現役プラチナ応援事業登録者数	市内に住所を有する65歳以上の方の登録者数	人	3,760 (H28)	8,100	5,654
総合相談件数	地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談対応延べ件数	件	15,855 (H28)	18,500	15,143
介護予防教室等参加者数	介護予防講演会や介護予防教室参加延べ人数	人	5,589 (H28)	5,900	3,044
シルバーリハビリ体操指導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士3級養成延べ人数	人	116 (H29)	196	155

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.98	4.27
令和元年度調査	2.98	4.25
令和2年度調査	3.03	4.19

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があられるのびやかなまちへ
基本施策	05障がい者福祉の充実
具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付，補装具の支給，地域活動支援センターの運営

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		障害福祉サービスや地域生活支援事業の実施により，障がい者の自立や社会参加等の推進が図られています。令和2年度は障がい者スポーツ大会が実施できませんでしたが，障がい者と健常者の交流と理解促進のため，事業を継続して参ります。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

2 主要事業の概要

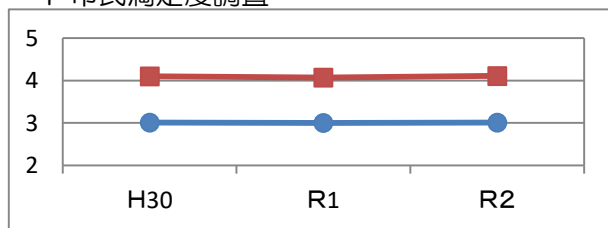
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付，補装具費の支給等により障がい者を支え，障がい者の自立や社会参加等の推進が図られるため，適切であると考えられます。今後も達成できるよう，必要な障害福祉サービス事務に努めていきます。
障害者地域生活支援事業【社会福祉課】	地域で生活する障がい者のニーズを踏まえ，地域の実情に応じた事業を実施し，障がい者の自立を支援していきます。今後も障がい者の社会的知識の習得や日常生活の場所として事業所の周知を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
障害者就労施設への物品等発注	市や市の委託事業等で物品等を発注した障害者就労施設の数	施設	5 (H28)	6	5
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボランティア参加者数	人	85 (H28)	90	0 (大会中止)

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.01	4.10
令和元年度調査	3.00	4.07
令和2年度調査	3.01	4.11

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があられるのびやかなまちへ
基本施策	06地域福祉の充実
具体的取り組み例	地域住民や専門家等による支援体制の整備，支援が必要な一人暮らし世帯の見守り活動

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが，台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう，行政，地域住民，民生委員・児童委員，社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。

2 主要事業の概要

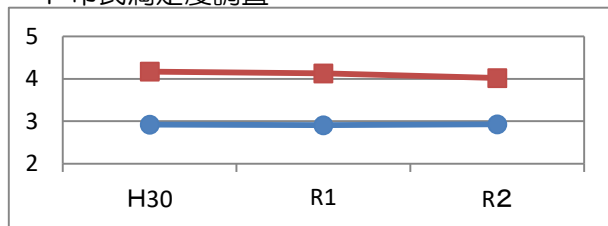
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費【社会福祉課】	民生委員・児童委員が地域と行政とのパイプ役となり，また，地域支えあいとなることで高齢者，障がい者，その他の援助を必要とする人が地域で独立した生活を営めるようにしていきます。
地域ケアシステム推進事業【高齢福祉課】	今後ますます高齢化社会が加速する状況の中，支援等を必要とする高齢者等に対する確かなサービスの提供を行うことが重要であり，地域に密着した社会福祉協議会と連携し，継続して実施していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
避難行動要支援者に対する地域支援者数	避難行動要支援者の台帳登録者の地域支援者の確保割合	%	49.6 (H29)	75.0	62.0
地域ケアシステムチーム数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	174 (H29)	180	178

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.92	4.17
令和元年度調査	2.91	4.13
令和2年度調査	2.93	4.02

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があられるのびやかなまちへ
基本施策	07生活困窮者等の自立支援
具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援、ハローワークと連携した就労支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		生活困窮者への各種助言や就労支援員による就労相談、ハローワークとの連携により生活困窮者の就労支援は、概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う支援員による面接等は、年間延べ150回実施しました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

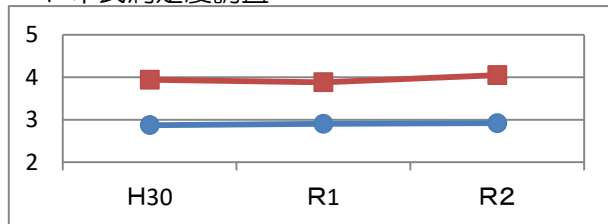
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生活保護適正実施推進事業【社会福祉課】	レセプト点検により、過誤調整を実施し、費用の削減を行いました。今後も国のセーフティネット支援対策事業に基づき運用していきます。
生活保護費【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。
自立支援プログラム推進事業【社会福祉課】	生活保護受給者に対し、各種助言や就労支援制度を活用する等により、自立に向けた支援を実施します。今後も生活保護法や生活困窮者自立支援法に基づいた事業運営を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち、増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	23.0 (H28)	30.0	30.15
生活保護廃止世帯のうち自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38.0 (H28)	40.0	53.48

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.87	3.94
令和元年度調査	2.90	3.88
令和2年度調査	2.92	4.05

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	特定健康診査・特定保健指導事業、医療費の自己負担を一部助成、介護サービスの実施

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		国民健康保険の特定健康診査実施率は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度を下回りました。今後とも受診勧奨の多様化を図ります。医療福祉費は、制度改正により18歳まで対象が拡大され、負担の軽減が図られております。介護保険事業では、第8期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。
		今後の方向性
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
収納率向上対策事業【保険年金課】	県は、財政運営の責任主体であり、安定的な財政運営や効率的な事業の実施等、国民健康保険の運営に中心的な役割を担っています。また、市町村は、資格管理、保険給付、保険税の賦課・徴収及び保健事業等を実施していきます。今後も納税相談や収納対策により収納率の向上に努めるとともに保健事業を展開し、医療費の適正化に努めます。
医療福祉事業【保険年金課】	小児の外来・調剤を令和元年10月から18歳まで拡大したことにより、対象者数や助成件数の伸びにつながりました。県の助成制度を含め0歳から18歳までの外来・調剤・入院のすべてが助成の対象となり、出産及び子育てにかかる負担軽減が図れました。今後は、厳しい財政状況の中、制度が持続できるよう適切な受診を呼び掛けていきます。
介護保険事業【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており、「認知症施策」「在宅医療・介護連携の推進」「生活支援体制整備」等、介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ、必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改革に合わせ、事業の展開を行っていきます。
特定健診事業・疾病予防事業【保険年金課】	データヘルス計画に基づき、特定健康診査の受診勧奨、特定保健指導など様々な保健事業に取り組んでいます。今後も特定健診受診機会の充実や健康意識を向上させる取り組みを行っていきます。

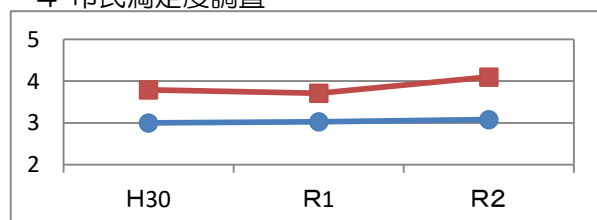
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

暫定値はR3.8末時点

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
国民健康保険税収納率・ (一般被保険者分)	国民健康保険税収納額 ／国民健康保険税調定額	%	91.1 (H28)	92.0	93.3
特定健康診査実施率	特定健康診査受診者数 ／特定健康診査受診対象者数	%	36.7 (H28)	60.0	27.2 (暫定値)
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者 ／特定保健指導対象者数	%	41.6 (H28)	60.0	36.1 (暫定値)
介護保険料収納率 (現年度)	介護保険料収納額 ／介護保険料調定額	%	98.1 (H28)	98.2	98.7

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.00	3.79
令和元年度調査	3.03	3.71
令和2年度調査	3.08	4.10

06 歴史・文化・未来を育む

学びのまちへ

【教育・文化】

-
- 1 創意ある学校教育の推進 P39
 - 2 学校施設の整備・充実 P40
 - 3 生涯学習の推進 P41
 - 4 生涯スポーツの推進 P42
 - 5 文化・芸術の推進 P43
 - 6 青少年の健全育 P44
 - 7 歴史・文化財の保護・活用 P45

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	01 創意ある学校教育の推進
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進，地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	成果指標は目標値を下回っているものが多いですが、これらは新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の学校運営ができなかったことによるものと考えられます。そのような状況下、実施が困難な事業があったものの、ふるさと学習等で地域人材や教育資源を活用することで、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地場産物の活用率は目標を達成しており、今後も地元産食材の活用を推進してまいります。
		今後の方向性	継続して学校・保護者・地域の人々と連携・協力しながら地域の教育力を活かす学校づくりを推進します。効果的なAETの活用について教員研修を行うことで、語学指導の充実を図ります。また、今後も、地場産物のさらなる活用を目指します。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

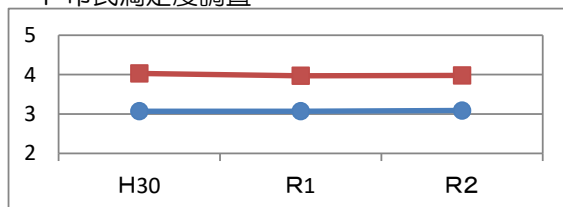
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
学校いきいきプラン推進事業 【教育総務課】	令和2年度は新型コロナウイルス感染症影響に伴い、実施が困難な状況でしたが、各学校において内容を変更しながら可能な範囲で実施を行い、各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されていると考えられます。しかしながら、今後は新型コロナウイルス感染症影響を見据えた事業実施について検討する必要があります。
語学指導事業 【教育総務課】	AETを活用した英語教育を継続することで、児童生徒が英語に慣れ親しみ、英語学習に意欲的に取り組むことができています。今後は、現行の取り組みを継続するとともに、学習指導要領の改訂に対応するため、AETの拡充や外部講師等を活用した教員に対する研修等の充実を図ります。
学校給食調理事業 【学校給食課】	安心・安全な給食を安定して提供するためにも、施設の設定等にトラブルが発生しないよう管理に努めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
いきいきプラン推進事業の事業数	いきいきプラン推進事業の事業数	回	215 (H28)	230	176
英語に興味を持つ児童の割合(小学校)	英語でもっと会話をしたいと思う児童の割合	%	93.4% (H28)	95.0	91.2
英会話県南地区予選最終選考進出生徒数(中学校)	インタラクティブフォーラムの地区予選最終選考に進出した生徒数	人	0 (H28)	4	— (開催中止)
学校給食における地場産物の活用	地場産食材数/総食材数	%	53.7 (H29)	59.0	67.3

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.07	4.03
令和元年度調査	3.07	3.97
令和2年度調査	3.09	3.98

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	02学校施設の整備・充実
具体的取り組み例	学校施設の改修工事，ICT化，学校施設個別施設計画の策定，空調設備導入のための設計業務委託

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		目標値に達していない指標があるものの，ICT環境整備について，パソコン教室のタブレット整備を令和元年度に全小学校で完了しました。市内小中学校全校での整備が完了したことにより，効果的な教育環境づくりが概ね達成されています。
	今後の方向性	
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		統合再編等により，小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，ICTの環境整備を含め，望ましい教育環境の整備を目指します。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ICT環境整備事業【教育総務課】	文部科学省が進めているGIGAスクール構想の実現に向けて整備を進めます。一人一台端末の整備，ネットワークの充実など，よりICT機器が快適に使えるよう環境の充実に努めます。
校務支援システム整備事業【教育総務課】	教員の業務を効率化・軽量化し，授業のための教材研究や児童生徒と向き合う時間を確保することにより，教育の質的向上を図るため，近隣自治体とともに共同調達に関する協議を行い，校務支援システムの導入を進めています。
学校統合再編事業【教育総務課学校再編推進室】	適正規模・適正配置に向けた小中学校統合再編計画に基づき，統合等の説明会を行い，学校関係者，保護者や地域住民との合意形成を図ります。また，統合等には，通学等の支援や学校施設の整備等を検討し，進めていく必要があります。

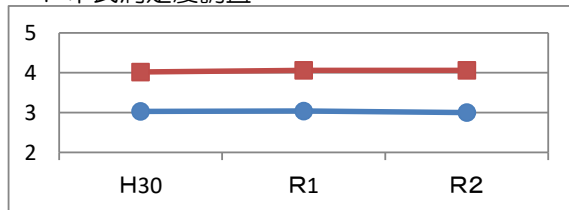
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
ICT環境整備率	オンライン学習が可能な生徒数/全児童生徒数	%	82.0 (R1)	100	100
教職員の労働時間の削減	校務支援システム導入前と導入後の労働時間の比較	時間	505 (R1)	450	—
適正規模の学校で学ぶ児童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生徒数/児童生徒総数	%	66.52 (H29)	74.1	63.14

※教職員の労働時間削減について：令和3年度に校務支援システム導入予定。導入後から実績値測定。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.03	4.02
令和元年度調査	3.04	4.06
令和2年度調査	3.00	4.06

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	03生涯学習の推進
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の実施，図書館の利用促進，放課後子ども教室の実施

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		生涯学習情報の収集や提供を行うことで，生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や，知識・経験ともに豊富な地域の人材を大いに活用し，市民還元型の生涯学習を推進します。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		市民が生涯いきいきとした生活が送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。

2 主要事業の概要

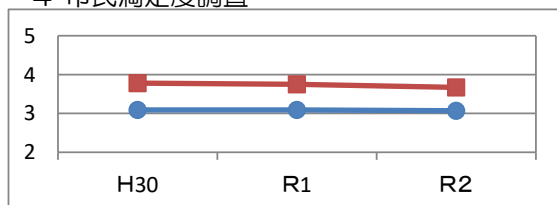
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
放課後子ども教室推進事業【生涯学習課】	地域の協力者，ボランティア及び学校と連携して事業を実施し，子どもたちの社会性，自主性，創造性等の豊かな人間性をかん養することができました。また，市内全校での実施と，放課後児童クラブに入所する児童も含めて希望者全員が参加でき，効率的な運営ができるよう石岡市放課後子どもプラン運営委員会における検討を重ねた結果，民間委託が妥当である結論に至り，令和2年10月より民間委託をしました。
公民館の事業【中央公民館】	市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう，各種講座・学級等を開催し，学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し，施設環境を整備するとともに，利用者の拡大を図ります。
中央図書館・こども図書館【生涯学習課中央図書館】	利用者のニーズに沿った図書館運営の実現を図ります。
市民講師登録制度【生涯学習課】	出前講座や市民講師制度について，より効果的な効率的な運営方法を検討し，市民循環型の生涯学習を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
放課後子ども教室参加者数	放課後子ども教室に参加する児童数	人	718 (H28)	780	921
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数	人	52,461 (H28)	53,100	8,121
図書館の年間利用者数	図書資料等の年間借受者数	人	80,648 (H28)	84,000	42,305
市民講師講座参加者数	市民講師講座参加者数	人	8,280 (H28)	9,500	3,999

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.09	3.78
令和元年度調査	3.09	3.75
令和2年度調査	3.07	3.67

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	04生涯スポーツの推進
具体的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施，ニュースポーツの推進

1 総括評価

進捗状況評価	C	総括評価	<p>新型コロナウイルス感染防止の観点から，一時期施設を休館したため，利用者数が減少しています。また，各スポーツ大会においても中止となっています。</p> <p>スポーツ教室においては，感染防止に努め一部の教室は開催しましたが，中止となった教室もあったため参加者が減少しています。</p>
		今後の方向性	<p>各種ガイドラインを参考にしながら，新型コロナウイルス感染のリスクを最小限に抑えられるように，施設の維持管理・環境整備を行い，各イベント等を開催してまいります。</p>
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

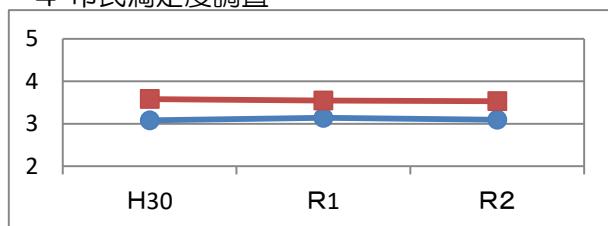
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツ推進事業【スポーツ振興課】	各スポーツ団体等へ大会・教室等の開催を依頼し，スポーツの普及振興を図ってきました。今後も社会情勢の変化や市民ニーズを的確に捉え，ニーズに応えられる事業選定をするなど，更なるスポーツの推進に努めていきます。
スポーツイベント事業【スポーツ振興課】	市民の体力向上と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めるとともに，市外からの参加者に対して石岡市の魅力を発信します。また，マラソンイベントに関しては更なる参加者を獲得するために，ハーフマラソンの具体化を検討します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
スポーツ施設利用者数	スポーツ施設を利用した延べ人数	人	315,170 (H28)	346,600	151,653
スポーツ大会参加者数	各競技のスポーツ大会参加延べ人数	人	2,619 (R1)	2,630	0 (大会中止)
スポーツ推進事業参加者数	スポーツ推進教室参加延べ人数	人	640 (H28)	760	390

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.08	3.58
令和元年度調査	3.14	3.55
令和2年度調査	3.09	3.53

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	05文化・芸術の推進
具体的取り組み例	美術展・文化祭などの開催，文化芸術活動の支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	市民が文化芸術に親しみ，創る人・見る人が創造性豊かな地域文化の向上を図るうえで，一定の役割を果たしています。また，自主的に文化芸術活動を行う団体を支援するために，様々な活動に参加する機会の充実を図りました。
		今後の方向性	令和2年度に文化芸術推進基本計画を策定し，令和3年度から文化芸術推進条例が施行されました。計画の進捗管理を行いながら文化芸術活動の支援に取り組みます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

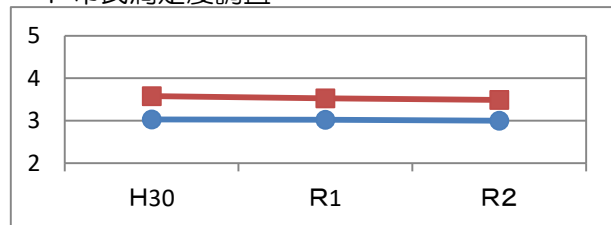
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
芸術・文化振興事業【文化振興課】	これまで文化芸術団体や市民と連携をはかりながら，市民の自主的な文化芸術活動の展開に取り組んできました。今後は将来の世代が地域の文化や伝統を守り育てるため，市民の自主的な文化活動を支援します。また，その担い手である市民の意見が反映された文化芸術推進基本計画が策定したことから計画の進行管理に努めていきます。
美術展・文化祭等の開催事業【文化振興課】	市内文化芸術団体や市民と連携を図りながら，石岡市美術展・アート協会展等，文化芸術活動の活性化を図れるよう取り組みます。
文化芸術活動団体への支援事業【文化振興課】	将来の世代が地域の文化や伝統を守り育てるため，市民の自主的な文化活動を支援します。また，その担い手である市民の意見が反映された文化芸術推進条例を施行したことから推進管理をしながら支援をいたします。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の出品者数	人	168 (R1)	180	123
石岡市美術展の開催文化芸術推進基本計画施策の取り組み数	文化芸術推進基本計画の取り組み数	個	62 (R1)	35	41

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.03	3.58
令和元年度調査	3.02	3.53
令和2年度調査	3.00	3.49

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	O6歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	O6青少年の健全育成
具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動等の補助・支援、青少年を育てる石岡市民の会、石岡市子ども会育成連合会の活動補助・支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		青少年が健やかに成長することを目指し、青少年の健全育成に資する各種事業を実施しています。家庭、学校、地域と連携しながら、活動体制の充実を図り、社会環境の健全化活動により、地域に根差した青少年健全育成活動を推進しています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、地域に根差した各青少年団体活動の推進に努めていきます。

2 主要事業の概要

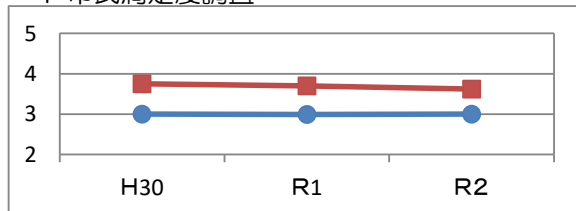
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
青少年相談体制推進事業【生涯学習課】	青少年の健全育成と非行防止に貢献している青少年相談員の活動が、今後も継続して維持できるよう、学校や地域に青少年相談員の活動を周知・支援していく必要があります。
青少年育成事業【生涯学習課】	青少年相談員の街頭巡回活動は定期的には実施されていますが、仕事をもつ相談員の活動参加が難しいため、活動へ参加できるような事業計画を検討していく必要があります。
子ども会育成事業【生涯学習課】	年々子ども会加入児童数は減少傾向ですが、児童の健やかな成長に大切な役割を果たしている子ども会事業について、引き続き支援をしていく必要があります。
青少年ボランティア団体活動支援事業【生涯学習課】	コロナ禍においても、石岡YSC（高校生会）等の青少年ボランティア活動団体が活動することができるように、支援方法を検討していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
青少年相談員街頭活動回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動回数	回	68 (H28)	70	59
青少年を育てる石岡市民の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会が開催する事業数	回	6 (H28)	7	6
石岡市子ども会育成連合会事業数	石岡市子ども会育成連合会が開催する事業数	回	5 (H28)	6	3
青少年ボランティア活動回数	青少年ボランティア団体がボランティア活動をした回数	回	14 (H28)	15	1

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.00	3.75
令和元年度調査	2.99	3.70
令和2年度調査	3.00	3.62

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	07歴史・文化財の保護・活用
具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援, 文化財の有効活用

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	発掘調査事業, 文化財の普及事業については計画的に進めることができました。指定文化財・国登録文化財数は143件で目標を達成しているところですが, 茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い, 国史跡指定を目指しています。また, ふるさと歴史館や常陸風土記の丘において企画展を開催し, 文化財の活用を図っています。
		今後の方向性	文化財保存活用地域計画を作成し, 文化財の適正な保護保存活用を図っていきます。また, 常陸国分寺跡保存活用計画が策定されたことから, その運用を図っていきます。

2 主要事業の概要

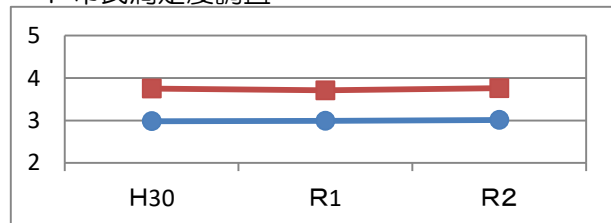
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査事業 【文化振興課】	発掘調査は大変重要な事業であることから, 今後も事業を現状維持で実施します。ただし, 依然として, 全ての開発を把握できていない状況ではないため, 今後はより活用をはかることにより, 文化財の重要性を市民に広げていきます。茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い茨城廃寺跡とともに国指定化を目指します。
文化財の普及事業 【文化振興課】	文化財の保護保存及び活用事業は, 今後ますます重要度が増すと思われることから, 普及啓発の推進をはかっていきます。また, 国指定文化財については, 令和元年度に常陸国分寺跡の保存活用計画を策定しました。今後は, 文化財保存活用地域計画の作成に取り組んでいきます。また, 国の指定を受けた史跡の公有地化を計画的に進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
指定文化財及び登録文化財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	142 (H28)	143	143
歴史ボランティアの会 会員	歴史ボランティアの会 会員数	人	23 (H28)	27	26

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.98	3.75
令和元年度調査	2.99	3.71
令和2年度調査	3.01	3.76

07 時代の変化に

的確に対応できるまちへ

【行政運営・経営】

-
- 1 積極的な情報発信と対話の充実・・・P47
 - 2 庁舎の整備・行政サービスの充実・・・P48
 - 3 地域情報化の推進・・・・・・・・・・・・P49
 - 4 広域行政の推進・・・・・・・・・・・・P50
 - 5 男女共同参画社会の推進・・・・・・・・P51
 - 6 国際交流の推進・・・・・・・・・・・・P52
 - 7 人材育成の強化・・・・・・・・・・・・P53
 - 8 行財政改革の推進・・・・・・・・・・・・P54

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	01積極的な情報発信と対話の充実
具体的取り組み例	「市長と語ろう会」等の対話の実施，戦略的・効果的な情報発信

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		「市長へのたより」や「市長と語ろう会」の実施を通して，市民との対話の充実に努めています。また，広報紙やホームページ，SNSなどを活用し，積極的な情報発信に努めています。事務事業の進捗状況から，当初の目的を達成しつつあります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		今後の方向性
		市政に関する情報を市民と共有する，開かれたまちづくりを目指し，今後も時代の流れに則した情報発信手法を随時調査・研究し，市民の市政への関心をより高めてまいります。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
広報活動経費【秘書広聴課】	広報紙については令和3年1月にリニューアルを実施し，これまで以上に市民一人ひとりが主役になるような紙面づくりを進めていきます。ホームページについては，デザインレイアウト等でも一定の評価を得ていることから，今後も定期的に改善を図りながら，見やすいページ作成を進めていきます。併せて，外国人や本市に関心を持つ市外在住の人にも広く情報が伝わるよう，他の発信ツールを相互補完的に活用するなどしながら，広報をさらに充実させていきます。
市民相談経費【秘書広聴課】	「市長へのたより」や「市長と語ろう会」は，市民や地域のニーズを的確に把握するための主軸をなすものであり，今後は，高校生や若年層の方と意見交換をし，幅広い意見の聴取に努めます。また，相談業務については，地域や人とのつながりが希薄になる中，専門家に相談できる場所等の提供の情報収集が必要です。
議員活動運営経費【庶務議事課】	これまで実施してきた議会ホームページの運用や議会広報紙の発行，議会報告会の開催に加え，昨年度からは本格的に議会映像のインターネット中継を開始し，市民が議会情報に触れる機会の拡大を図りました。今後は事業の周知を進めることで，市民の議会への関心を高めていきます。

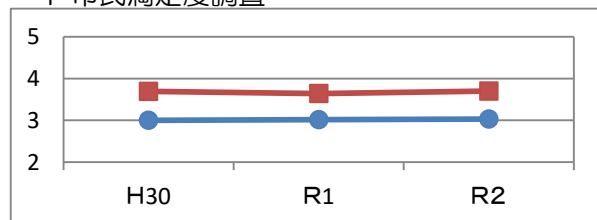
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
市公式ホームページアクセス件数	市ホームページの1か月あたり総アクセス件数	件	310,047 (H28)	312,000	433,015
議会ホームページアクセス件数	議会ホームページへの年間アクセス件数	件	22,051 (H28)	24,000	47,013
市民からの市政への提案数	「市長へのたより」における提案型の内容の割合	%	36 (H28)	40	26

※一定時間内の同一パソコンからのアクセスは何度アクセスしても1件とする計測方法により算出しています。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.00	3.69
令和元年度調査	3.02	3.64
令和2年度調査	3.03	3.70

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	02庁舎の整備・行政サービスの充実
具体的取り組み例	住民票のコンビニ交付、窓口延長サービス及び休日開庁、防災機能を備えた、使いやすい庁舎管理

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	来庁者が安全・安心に利用できるよう庁舎の維持管理や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営の推進を図っています。また、行政サービスの拡充に向け、マイナンバーカードの交付を促進し、証明書交付においてコンビニ等での利用拡大を図り、休日開庁など市民の利便性向上に努めています。
		今後の方向性	来庁者が安心・安全に利用できる庁舎の環境維持と、市民ニーズに対応した、より良い市民サービスの提供と効率的な行政運営を目指します。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

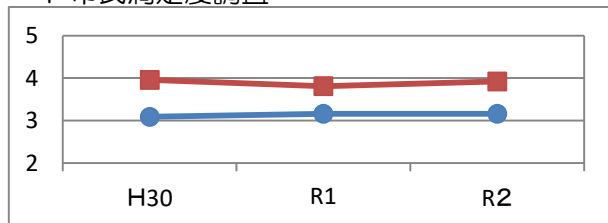
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
窓口延長および休日開庁事業【市民課】	昼間働いている市民のために、毎週水曜日は午後7時まで一部の窓口で業務を延長し、また、窓口が集中する3月下旬、4月初旬及び6月中旬において、休日開庁を行っています。
コンビニ交付事業【市民課】	個人番号カードを利用して、コンビニにて住民票等の交付を受けられる事業を行っています。本庁舎にも同様の方法で交付を受けられる機器を導入しています。
総合支所庁舎有効活用事業【八郷総合支所総務課】	市民サービスの向上を図るため施設の複合化を図り、八郷地区における地域コミュニティの活動拠点として、市民に利用しやすい工夫をしていきます。
感染予防対策および緊急事態対策【管財課】	市民及び職員等が安全・安心に利用できるよう感染症予防対策を講じ、また、緊急事態時には即座に対応できる体制の整備を図り、市民及び職員等の安全確保に努めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
コンビニ交付の利用率の向上	コンビニ交付を利用する際に必要となる個人番号カードの保有率	%	11.0 (H29)	30.0	24.6

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	3.09	3.96
令和元年度調査	3.16	3.81
令和2年度調査	3.16	3.92

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	03地域情報化の推進
具体的取り組み例	情報システム基盤の最適配置やAI等の先進技術を活用した行政運営や課題解決、ICTセキュリティの強化

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		<p>国や県の計画や指標等と整合性を図るとともに、市独自の自治体DX推進に向け、強固なICTセキュリティに基づく新たな価値創造のためのデジタル技術実装や、データの活用の実施を検討すると同時に、BCP計画に則った各種システム及び機器類の安定稼働を、年間を通して実施することができました。</p>
		今後の方向性
	<p>A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要</p>	<p>石岡市地域情報化計画に基づき、国・県の計画と整合性を図りながら、新たな技術動向や社会情勢等を調査研究し、時代に即した効率的な行政運営を図るため、業務システム等の最適化を目指します。</p>

2 主要事業の概要

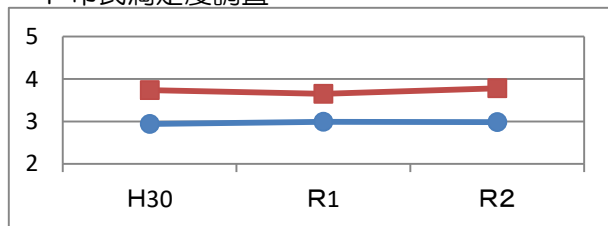
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
住民サービスの向上・効率的な行政運営のためのシステム構築【情報政策課】	基幹系システムの安定運用を行うことにより、継続した住民サービスを可能とすると共に、クラウド化や共通化、自治体DX推進等、新たな技術動向を踏まえながら、より信頼性のある安全で効率的なシステム構築を行っていきます。
信頼性・安全性確保のためのシステム構築【情報政策課】	情報資産等を保護し、信頼性のある安全な業務環境を構築し、質の高い住民サービスを提供して行くため、継続してセキュリティ対策を実施していくと同時に、テレワーク等の柔軟な働き方への対応も検討していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
各種システム・機器の安定稼働	各種システム及び機器の安定稼働継続	日	365 (H29)	365	365

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.94	3.74
令和元年度調査	2.98	3.65
令和2年度調査	2.98	3.78

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	04広域行政の推進
具体的取り組み例	周辺自治体との連携強化，広域事務処理の見直し

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		効果的で効率的な行政運営を進めるため，周辺自治体と一部事務組合を構成し，広域的な行政サービスに取り組んでいます。また，平成28年3月に行方市，小美玉市及び茨城町と締結した「公の施設の広域利用に関する協定書」に基づき，市民の利便性の向上と地域間交流を推進しています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		効果的で効率的な行政運営を進めるため，周辺自治体との連携を進めていきます。

2 主要事業の概要

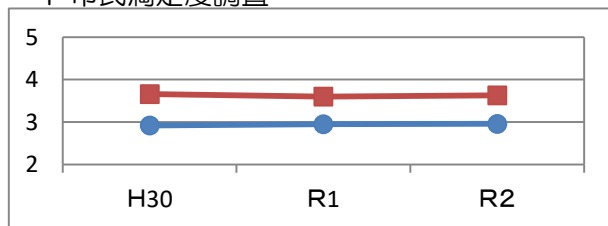
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
定住自立圏構想事業【政策企画課】	市町村行政の広域化の要請に対処し，市町村行政の効率化と均衡ある発展を促進するため，地域の実情に応じて周辺市町村との連絡調整を行います。
広域処理施設の整備【生活環境課】	ごみ処理について，効果的かつ効果的にサービスを提供するため広域処理施設の整備を進めました。今後は，霞台厚生施設組合地域循環型社会形成推進地域計画（第2期計画）に係る整備及び旧施設の解体等を進めるとともに安定稼働に努め，一般廃棄物を適正に処理します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
新たな広域行政の取り組み	新たに広域行政の取り組みがなされた件数	件	0 (H28)	1	0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.92	3.66
令和元年度調査	2.95	3.60
令和2年度調査	2.96	3.63

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	05男女共同参画の推進
具体的取り組み例	女性のための困りごと相談の実施，男女共同参画セミナーの開催

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		第2次石岡市男女共同参画基本計画に基づき，市民や事業所を対象としたセミナーの他，小・中・高校生を対象とした出前講座を実施し，男女共同参画社会の実現に向けた理解促進に努めています。また，政策決定過程への女性の参画促進に全庁的に取り組んでいます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		関係団体等と連携しながら，市民・企業等に対する男女共同参画への正しい理解促進に取り組んでいきます。

2 主要事業の概要

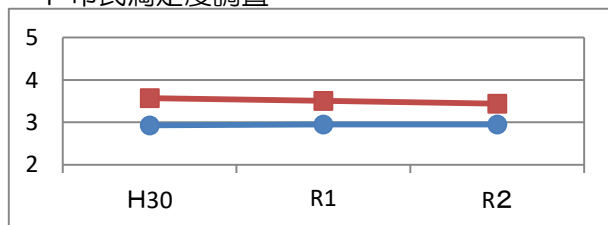
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
石岡市女性人財登録制度【政策企画課】	事前の人材登録により各種審議会での女性委員の割合を高める取り組みを行っています。今後も継続して市の政策・方針決定過程への女性の参加を促進していきます。
セミナー・講演会等の開催【政策企画課】	男女の固定的役割分担意識の転換や社会制度・慣行の見直しの契機となるようセミナーや講演会を開催しています。今後も一層の集客やオンライン開催などに向け検討していきます。
小中学生向け出前授業【政策企画課】	県や関係機関と連携した小中学生への意識づけを行っています。今後も継続して男女の固定的役割分担意識の転換を目指して授業を開催してまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
審議会等委員の女性の登用率	市の審議会等における女性委員の割合	%	23.6 (H28)	30.0	25.1
石岡市男女共同参画基本計画の認知度	石岡市男女共同参画基本計画を知っている市民割合	%	12.0 (H28)	30.0	12.0
市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進状況	市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の割合	%	34.7 (H28)	50.0	34.7
性別による固定的役割分担意識を持たない市民の割合	「男は仕事，女は家庭」という考え方に賛同しない市民の割合	%	54.3 (H28)	60.0	54.3

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.93	3.57
令和元年度調査	2.95	3.51
令和2年度調査	2.95	3.44

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	06国際交流の推進
具体的取り組み例	国際交流活動を行う団体への事業支援，市内在住外国人の支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		市内に住む外国人数は増加傾向にあり，地域における国際交流の役割も重要性を増しています。そうしたことを踏まえ市内の国際交流団体と連携し，施策を推進しています。令和2年度には，日本語を教えるボランティアの養成講座を開催し，日本語教育の支援に取り組みました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		市と国際交流団体が連携して地域の国際交流を推進し，日本人と外国人がともに安心して暮らせる共生社会の実現を図ります。

2 主要事業の概要

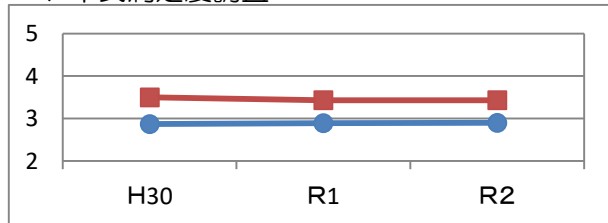
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国際交流施策推進事業【政策企画課】	市と市内の国際交流団体が役割を分担し，より効率的な国際交流の推進を図っていく必要があります。
外国人に対する情報発信【政策企画課】	暮らしの便利帳や防災ハンドブック，各種制度の案内等の翻訳を行っています。今後も外国語をはじめ優しい日本語を使って情報発信を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
小学校における国際理解教室の開催数	民間団体と連携して実施した国際理解教室の開催数(累計)	回	0 (H29)	3	1 (R2実績：1)
多言語版暮らしの便利帳の閲覧数	ホームページへのアクセス数	件	1,215 (H29)	1,500	2,093

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.87	3.50
令和元年度調査	2.89	3.43
令和2年度調査	2.90	3.43

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	07人材育成の強化
具体的取り組み例	各種研修の実施による職員の能力向上

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣研修等が減ったものの、概ね目標を達成しています。
		今後の方向性	専門的及び実践的な研修に力を入れ、研修としての派遣も積極的に行います。公務員倫理やコンプライアンス強化のため研修を継続して行います。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
研修制度の充実【総務課】	平成28年度より研修の効果を高めるために研修復命書とあわせて、研修をどのように活用したいか目標設定を立ててもらったり研修後のフォローアップアンケートを行っており、研修受講した後の業務の活用についての意識が向上しています。今後も研修内容を日頃の業務に活かす取組を行います。

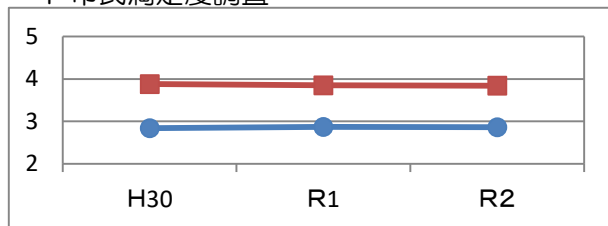
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
各種研修の受講者数	研修受講者の数	人	1,442 (H28)	1,545	1,662
研修復命で掲げた目標の達成率	研修復命で掲げた目標を「ある程度以上達成した人」の割合	%	81.9 (H28)	100	94.0 (R1)

※「研修復命で掲げた目標の達成率」の実績値について：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、研修中止や研修形態の変更があり、例年と比較することができないことから調査できなかったため、令和元年度実績を記載。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.84	3.88
令和元年度調査	2.87	3.85
令和2年度調査	2.86	3.84

令和3年度 石岡ゆめ創生プラン 施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	08行財政改革の推進
具体的取り組み例	行財政改革大綱に基づく効率的な行政運営

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	石岡市行財政改革大綱のテーマである「行政資産の強化と公共サービスの最適化」を目指し、①財政運営の充実、②人財の強化、③協働によるまちづくりの推進、④行政サービスの最適化、4つの取組方針、46の実施項目を掲げ、庁内各部局の取組状況等を毎年進行管理しています。 令和2年度は46項目のうち、44項目が実施中となりました。残り2項目についても、スケジュールに沿って進められています。
		今後の方向性	計画期間が満了（令和3年度まで）する第2次石岡市行財政改革大綱の総括を行います。 令和4年度以降については、新しい総合計画と一体化し、各種取組状況について進捗管理を行っていく予定です。

2 主要事業の概要

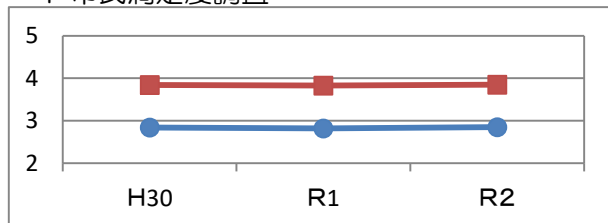
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
行財政改革推進事業【行革推進課】	第2次石岡市行財政改革大綱に基づき策定をしている石岡市行財政改革実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング（見直し）を行います。 令和4年度以降、新しい総合計画と一体化し、各種取組状況について進捗管理を行っていく予定です。
公共施設等総合管理計画推進事業【行革推進課】	石岡市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設利用者の安全・安心の確保は無論のこと、集約・統合等による適正配置や、民間との連携等による新たな事業手法の採用により財政負担の平準化を図ります。また、令和2年3月に全ての個別施設計画の策定が完了したため、今後は各計画に基づく定期的・計画的な修繕及び長寿命化や施設の複合化等を図るとともに、社会情勢の変化等に柔軟に対応できるよう3～5年で見直しを行いながら、効率的な行政運営を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和2年度)
石岡市行財政改革実施計画の実施事項	実施事項のうち取組み実施数	項目	-	46	44

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成30年度調査	2.84	3.84
令和元年度調査	2.82	3.83
令和2年度調査	2.85	3.85